公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド011小山駅東店(パーク)

公表日　利用児童なしのため、結果なし　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し上で、児童発達支援計画を作成しているか。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	幼児期から学齢期に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	28	（29～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	40	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修の訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド013真岡東店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	56%	44%	収納スペースがもっとあると良いと思う 一つ一つ児童をクールダウンさせる部屋がある。クールダウンさせる部屋が一つしかないと　他の児童のクールダウンする部屋が無く　他の児童が原因でヒートアップしてしまうので改善をして欲しい。 利用人数に対して部屋が狭い。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	44%	56%	職員が少ない時がある 午後16時以降の職員体制が少し厳く工夫が必要 重い子供や人数の配置で　すり回らずま部が足りないと感じる場面がある
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	個室があるが、そこで長い泣きがあると他児童へも丸聞こえで主流のフロアが落ち着かなくなる面がある 絵カードを知って　絵本の中が様々の色に着えたりするなど工夫をしながら行っている。 子どもが飛び出す可能性もあり、検討が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	物をしまうスペースがせまいため、工夫が必要 収納スペースが少ない為、主流のフロアに物が置いてあり、狭くて動きが制限されてしまう所がある 月1回 大掃除をしたり、子供が帰ったあとにおもちゃの消毒
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	89%	11%	2つある個室の内 一つは収納スペースが主流になってしまっているので個別対応できる部屋が1つしかない現状。工夫が必要。 個室がないので クールダウンする児童の人数が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	89%	11%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	水曜日には支援者会議を行い スタッフ一人一人の児童の接し方や課題を挙げている。 努力はしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	その後の経過や何か変化がある場合は常勤スタッフに伝えるよう促している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	一つ一つ出来るかどうかを目視して その子にあった課題を設けている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ら4 及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低経なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド018今泉新町店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	記載がやや狭く感じる もうひとスペースが広くても良いと思う。 人数が15名のときや動きの多いお子さんが複数いるときには、スペースが狭いと感じます。
	2	利用定員や こどもの在室等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	夏休み半ばくらいまでは、スタッフが少ない時間があり、お子さん達への対応が充分にできないと感じることがあったが現在は解消。お子さん達のために、お子さんの年齢や特性、マンツーマンで関わりが必要なお子さん等、状況に合わせたスタッフの配置の検討は必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	個別療育を行なっていることもあり、個室にマークを掲示し、どの部屋で実施するのかを児童にもわかりやすく、移動しやすくしている。 限られた空間の中で、それなりの工夫はできているのではないかと思いますが、より改善できることもあるかとは思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	63%	38%	定気洗浄機が常についている。 以前から問題と思いますが、トイレが一つしかないため、お子さんに待たせてしまうことがあったり、隣の放デイ（トイレが2つある）に借りに行くなどしていて、工夫が必要となっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	50%	50%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	モニタリングの内容を共有していますが、業務改善までできているかは疑問です。個別療育については、情報共有し取り入れたりできていると感じます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	63%	38%	スタッフ会議を行っている 個人的に相談などはさせていただいていますが、ミーティングというような形は今年度一度だけなので、定期的にミーティングができたらよいのではないかと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	動画研修を行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	88%	13%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	63%	38%	情報共有が足りていないこともあると感じる為、工夫が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	63%	38%	支援計画の共有はあっても、具体的な関わりなどについての情報共有などはできていないこともあるので、非常勤にもしっかり情報共有をお願いしたいと感じることがあります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	63%	38%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもや支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	90%	相談上やライン上で確認などしているが、具体的な動き（マンツーマンでつく必要のあるお子さんについつ誰が対応するか等）はその場で声をかけあったり、ベテランの赤荷動が気を利かせて動いていることも多いと感じます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	ライン上で共有はしていますが、必ず打ち合わせをする時間の余裕や共有は難しい状況です。時間の使い方の工夫が必要となる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	個別療育の記録やハグなどで行っているとは感じますが、検証改善までは難しいこともあると思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	63%	38%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititle児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	25%	75%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	38%	63%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご意向等の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13%	88%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートを、共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	88%	13%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	75%	25%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド021新宮の内店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	91%	9%	個別療育の教材を新しく追加したり、その都度子供達の教材をよく考えている。 児童の発呈引き時制やその子に合わせた療育方法（集中させる為にペットボトルのおもちゃを渡す等）を行っている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	73%	27%	言語聴覚士や作業療法士が必要と感じる スタッフさん同士の児童の詳細の共有がしっかりしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	教材室の整理整頓を日頃からおこなっている 机の配置等が児童が怪我しにくい構造をしていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	限られた空間を生かしながら、パーテーションを使ったり工夫している いつも、清潔に、除菌もしっかりしている。 エアコンの定期的な掃除など。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	子どもが落ち着けるような工夫や声掛けができていると考える。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	目標設定をスタッフ間で話し合い、振り返りも簡単には行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	都度会議の中で話し合いしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	64%	36%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	意識出来ているスタッフと出来ないスタッフがいるため、工夫が必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者の意望がスタッフ誰でももかかるように、表記している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎日会議を開いている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	スタッフが常に見える様に提示している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	91%	9%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎回話し合っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	しっかり取り組んでいる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	時間が取れる時にまとめて行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	73%	27%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititle児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	91%	9%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	55%	45%	幼稚があれば行いたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	82%	18%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等にお伺いさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	55%	45%	幼稚があれば行う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	55%	45%	依頼があればいつでも
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド027ゆいの杜店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動によって、テーブルなどを片付けて広く使えるように工夫している 死角ができるため、見守りなど工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	人員の基準は満たしているが、実際の稼働の度合いで必要な人数が異なる場合もあるため、工夫や改善は必要。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	自分たちで玄関とフロアの区切りを付けた。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	60%	40%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40%	60%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	支援者会議やスタッフ会議の日にちを決めて、意見を言える場を設けている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修は行われているが、社内が多く、支援方法や障害への理解に関する外部の研修にも行けると良さそう。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	80%	20%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	60%	40%	児発管が子どもと関わることがないに等しく、お子さんの支援に必要な情報収集など、工夫が必要。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ない及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	打ち合わせは設けられていないが、スタッフ間で確認し合うことができている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	60%	40%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	全てと連携できているわけではないが、必要に応じて検討している。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	60%	40%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	毎回できているわけではないため、工夫が必要
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的にではないが、必要があればその都度行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年１、２回程度なので、増やしても良さそう。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド028下薬店(パーク)

公表日　利用児童なしのため、結果なし　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し上で、児童発達支援計画を作成しているか。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	幼児期から学齢期に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	28	（29～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	40	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修の訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連絡が切られるよう、安全計画に基づく環境内容について、家族等へ周知しているか 。			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド032下高間木店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	お部屋やトイレに苦などがないため、換気ができない、空気清浄機などで対応している。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	いつもではないが、子どもの特性に応じて、もう少しスタッフがいた方が良いと思う日もある。 職員が足りていると思う日もあれば、もう1人欲しいという日もあり様々。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	こどもが自由活動のときに遊べるスペースの使い方には工夫が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう掲かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をの確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を策定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド034西茂呂店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者からのご意見ご要望があれば、皆様方からスタッフに回共有している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	社内研修他、市内の研修にも参加している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	78%	22%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	78%	22%	「必ず」ではないためまず出来るよう努力したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	「必ず」ではないので、必ず出来るよう努力したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	78%	22%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititi児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向を確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、軽傷などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド035新さくら店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	トイレと洗面が1つしかないため、おやつ前や粘土のレク後の手洗いの渋滞と時間の確保が必要になる。 手洗い場、トイレが1カ所しかなく足らない
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	お子様のご自宅の場所がまちまちのため、お迎えの際の工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	情報が共有できるようLINEを活用するようにしている。 フロアがコンクリートに薄い床材のみで転倒した際に衝撃を吸収できず大怪我に繋がりかねないため、工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	空けられる窓がなく換気が悪いため、空気清浄機などの活用が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	ものが増えて来ているため、物置があると整理できると思う
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	75%	25%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎日朝礼で今日利用する子供の目標を確認しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	情報の共有方法があいまいになっているため、改善が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	目標やめあては話し合っているが具体的な支援内容とその役割分担までは出来ていない場合が多いため、改善が必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	役割分担をもう少し明確にすると良いかと思われる
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	学校側から情報共有の依頼がある場合は率先して協力しているが、共有依頼が無い学校(自立体)の場合は共有出来ていない。共有の仕方など工夫が必要
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	やりたい、必要だと思うので資格を取りたい。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	50%	50%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド037鶴田店PLUS(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である。	89%	11%	毎月利用人数がほぼ15名で、個室、フロアにて うまく別れさせて小集団の療育を行なっている ドアごとの区切りさみガードやり集団ごとの個室はすどもたちの療育環境として良いかなと思います。個室の治療室などの完備は改善が必要かと感じます。 個室を上手く使用して小集団を行っていますが、遊具が無いため療育に必要な物品等を保管する場所がなく、3つある個室の1つが倉庫となってしまっています。
	2	利用児員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である。	67%	33%	正直、度日や、土曜日など常勤がフルで出勤していても、人手が足りないと感じる時が多い、スタッフが、1対1で対応しなきゃならない児童が同人も居ると、事故などが起きてしまうリスクが増えるので、改善がが必要かと感じた。 現場、社会の変化によって必要となる人員は大きく変わるかと思います。画一的な人員配置は危険を招く恐れがあると支援の中で感じています。 クロスRCEまでの常勤数が多く、社保あうの非常勤は多いのに記録管理にならない確認が多々あります。また土日祝もほとんど出勤出来ないま補塡がほとんどの為、不要なところが過多になり、必要なところが足りないなど多くあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	靴箱が狭記ざれていない。洗面台も、落ちそうて簡単に突っ張り棒で支えてあるだけなので、落ちないか不安になります。 ロッカーの角や、家具の縁が丸くないため、工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、感酔機、アルコール消毒（おもちゃ等）を行っいまる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	89%	11%	泣いてパニックなどになった際、落ち着ける場所として個別の部屋を利用したりしている 廊鐵やパニックの際、個室で開閉などはできるが、最限遠さ中で少し調まれた環境を好むお子様にとっては、大きなワンフロアという環境は時に少し過ごしにくさを感じさせるかと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修は、常勤パート関係なく受けるべきだと感じた。事故に関する研修もパートさんも送迎出るので受けるべきだと感じた。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、資質しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	自発豊の力が紐かくアセスを取って、個のミーティングにて情報共有して下さってます！
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	対象の児童を設定し支援者会議を行っている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの遠応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	うちの特色として平日は曜日固定での活動になります。土祝はランダム、様々な活動を取り入れています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝ミーティングを行い児童の情報共有など行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気がいた点等を共有しているか。	100%	0%	必ずではないものの気になる点や良かった点はすり合わせをしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録用紙のフォーマットを療育ごとに用意してます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、透園する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼回する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28~30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	89%	11%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	事業所における活動の様子を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭でのご支援にご活用いただけるよう細かく お伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の妥当窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、運営体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	89%	11%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	事務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド038中今泉店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	93%	7%	スタッフが当日欠勤した際に、人手不足のためかなり危ない場面が多い フロアーが広く個室もすぐに使えるようにされトランポリンなどを常備してある。 個室があることによって個別療育やクールダウン等その場面に応じて活用が出来る
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	93%	7%	スタッフ不足のためリスクを伴うことが多い 放デイと協力して取り組めている。 2部屋あるため、日が打点良くように配置を工夫している。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87%	13%	トイレが子ども1人には使いずらくパーク内にトイレが2とつしかない為排泄に時間がかかってしまう。 トイレや洗面台が低う少し低いと子供たちにも使い易い、踏み台を使用しているがふさい子や身体に障害がある子には危険な時もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	93%	7%	床が固いのでクッションフロアにして欲しい。 床の下がコンクリートの為、転倒などが心配 委託衛生等のチェックシートにより、以前よりも様々な箇所を定期的に掃除ができるようになった
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	床の素材がクッション状だと、怪我などのリスクが減らせるため、工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議では目標や振り返り等を話し合う時間が設けられている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	モニタリングの送迎の際にも会話する機会を設け、要望等話すこともある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	一通りの業務が終わったあと等にパーク内で話し合いの時間が設けられている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	93%	7%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	直近3ヶ月以内の活動内容と被らないように計画している 補助スタッフでしらの内容を考えるようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	93%	7%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	87%	13%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう掲かくお伝えしております。
非常時等の対応	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	47%	53%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	93%	7%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	53%	47%	地域住民ではないが、お隣の会社の人との関わりや、外部から講師を招いてレクリエーションを行なった。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	93%	7%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド040東城南店PLUS(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	人数が多い時や、入室時間が違うのでもう一部屋あると、レクや活動がしやすい。 使わない机費はこまめに片付けている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	日によって、子供の人数に対して職員が少ない時もある
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	マットを敷いたり、危険な箇所はガードしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	個別療育の部屋はあるが、もう一部屋あるとよい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員間での情報共有はしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	その都度、社員さんに伝えやすい環境になっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レク担当を決めて、個性溢れる内容になっている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	83%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう掲かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等にお伺いさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	83%	17%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	83%	17%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83%	17%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド046薬瀬店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	86%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	71%	29%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド048新並木店(パーク)

利用児童なしのため、結果なし

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し上で、児童発達支援計画を作成しているか。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	28	（29～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な情報と支援を行っているか。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	40	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HP やSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく環境内容について、家族等へ周知しているか。			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド049加須店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	トイレと手洗い場が一区化しているので引に手洗い場があれば、現在よりゆとりを持って排泄や手洗いの援助がしやすくなると考える 広く安全に動けるようにガードはなく、テーブルなども段際にそろえている。 都度配置を変えたり片付けたりしている 学習室を使っていないときに遊びのスペースとして確保している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	基本的には配置人数は満室1と考える 急なスタッフの欠席が出るが、希望にも添われる。 土曜日祝日に公休希望の方が多く、子どもの人数に対して職員の人数が少ない時がある 他活動との協力をもっている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	手洗いや足ふり場所、動線を床にイラストを配置する事で児童が移動しやすくなっている 立位やトイレ目の低下等で気づきにくくなる場面を把握したことがある。 対象さき、鍵の工夫をしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	常に窓を開けて空気の入れ替えをし換気を心がけている。 活動等に合わせて机の配置を変えたり、片付けをしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	基本的には子供が1人で入室ができないように鍵を閉めている 児童が一人にならないよう、ドアを開放しているが、ドアを閉めたい児童がいる際には子がのリスクがある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	90%	10%	チェック表を使って児童の目問をスタッフが確認したか問話化している 管理者が一人ひとりの児童に対し、どのような対応が必要か共有している。 毎日の振り返りがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	保護者様からの意見は、分からない状態になっている。 共有が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	会議を開き、常に共有している。 立地的に職員会議や意見等を集まながら業務を行なっている 共有はされているが実践がされていないため、工夫が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	研修自体を業務時間外で行うため、視聴する時間がなかなかとれない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	個人ファイルにて、いつでも見られるようになっている。 職員がいつでも見ることができている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	管理者が現場での児童の様子などを他スタッフの話も参考にし作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	まとめて収納されている棚がいつでも開け閉めできる為、見に行きやすいです。 スタッフ各自の期間に任せられている為、意見や考えの違いが生じる場合がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つ心及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	毎月のレクカレをスタッフ全員で相談して決めている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	前月や前年度のレクカレを見直している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	どのように対応出来るとより良いかご一緒にアドバイスをいただけます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時刻も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	90%	10%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	週休放炎の幼稚園や保育園の先生と連携をはかっている。
	26	就行机用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	60%	40%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	他活動の事例等を見て、取り入れていきたい 公園や図書館などで設計をする機会はあるが、活動自体を一緒に行う機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時の保護者と会話をしながら共通理解に努めている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	親子運動会などスタッフの支援が見れる機会を提示している 管理者や自再度が行なっている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	管理者および児発管が行なっている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	管理者および児発管が行なっている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	管理者および児発管が行なっている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	お急ぎの場合には、電話での対応も行なっている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	春五月が行なっている3.0の与機能共有の場所の認知を広めていく 年に一度の運動会時の参加者のみ交流がある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関常口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	ことばについては、マカトンサインや絵カードなどを用いてコミニケーションをはかることもある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってなり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行ってなります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	保護者様へ掲示版に説明をしているが、紛失・盗れている可能性があるので、今一度チラシ等を作って配るべきだと考える
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	90%	10%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測束を行った場合には記録を行ってなります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド051ひたち野うしく店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	広さがある印象なので、清潔や清掃の徹底に努めている。 衛生違いので丁寧で、柔らかい雰囲気で楽しみがあるところが素敵だと思う 常に整理整頓している
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	送迎時の人数が少なくなることがある 日によってばらつきがあることが課改善だと思う 配慮している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	手を洗う利用者から距離にいる人が同じ空間で隔たりもない。 元気のトイレに段差があり危険があるので、必ずスタッフが見守りをする。 広い空間でのびのびしやすいところがいいと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	92%	8%	トイレの更衣では年長でも男女が一緒になってしまう。配慮をしてほしい 壁や床が割れてる　寝るスペースがもう少し静かだといいか。 窓が開かないので、換気を意識的にしている。 清掃が丁寧なところがいいと思う
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	鍵が子供が届き、すぐに開けられる位置にあるので、鍵の高さに考慮の必要と思う。 午前組と午後組を分けることができるのがいいと思う
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ミーティングの内容をノートで確認できるところがいいと思う スタッフ間での確認、連携をとり対策に努めている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	情報共有ができているところがいいと思う
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	意見を気軽に言える雰囲気が嬉しい。 情報共有ができているところがよい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	もう少し、時間がとりやすくなると嬉しい 研修が充実している 必ず受講している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	92%	8%	保護者とのコミュニケーションを大事にしているところは良い
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者とのコミュニケーションは適切に図れている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	意見を聞いてくれる 情報共有が充実している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	92%	8%	把握できていないスタッフもいる 情報共有が充実している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	92%	8%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの枠組みを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれで、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	設定されると思うが把握しきれていない 情報共有の充実がなされている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行っているが、もう少し意見交換ができるといいか スタッフ同士のコミュニケーションが図れている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動が増えるともっと良いか 保護者やスタッフの連携が図れている
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92%	8%	役割分担がないままスタートすることもある コミュニケーションが図れている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	92%	8%	一部はしていると思う 情報共有の充実はしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	問題点があった際は共有しているか 情報共有は充実している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	じっくり丁寧に行なっていると思う。保護者からの意見や質問等は共有してくれる 保護者との連携が図れている
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者会議があれば児教管が出席しますが、開催は少ない状況です。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	情報共有の機会がない市町村もある。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児適所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	92%	8%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幅のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	送迎の際に先生とお話し、情報共有に努めていますが、特に交流する機会はない状況です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時には必ず説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	83%	17%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド052幸手店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92%	8%	おもちゃなどの収納場所をきれいにしたい 運動できる部屋と椅子に座って勉強できる部屋があることと壁の色分けがしてあること。個別の部屋も2つあって良いと思います。 改善は　おトイレが一つしかないのでもう一つ欲しい。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	92%	8%	常勤、非常勤との連携が図れている スタッフの年齢が一定していないところが子供の環境に良いと思います。お姉さん、お母さん、おばあちゃん的な役割のスタッフがいる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	子供たちの名前の令呼ぶ時の工夫を行っている バリアフリーになされています。あと は外から入る出入り口少し改善が必要な気がします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	92%	8%	定期的に床の水拭きなどをしたい マットなど利用しているところはよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	本当はもっと個別の空間が欲しい 個別の部屋が2つあって１つは午睡した子供が寝たり、本を置いてあったり、もう一つは他の子供と離さなければならない時に利用できたり落ち着ける部屋かと思います
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	一部の職員は振り返りが出来ていないかもしれないと思う時があるので、工夫が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	各児童の特性などを活い出し、共有している 計画を立ててスタッフと保護者様とモニタリングをしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	こまめにされていると思う。責任者がきちんと聞いてくれている 意見を言いやすい環境にあると思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	たまに外部の方が見えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に動画などを見ている その都度皆さんにメールで知らせていて届い合もされているようです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	92%	8%	LINEなどであれ、共有している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	92%	8%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つ公文援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	92%	8%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう掲かくお伝えしております。
苦情等への対応	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	92%	8%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド053 鶴田店FUN(パーク)

利用児童なしのため、結果なし

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を習得する機会が確保されているか。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の五つの領域全てを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらに対して、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)		
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、質問や必要な助言と支援を行っているか。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、道路体制障の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド055加須店PLUS(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	55%	45%	部屋が狭くて走り回る子が多いため危険。 体育室が狭い、収納スペースが少ない 転びしまいやすく、出ししやすい(軽いから)。部屋数もあるので、主に使うお部屋の広さは十分あるとおもう。 支援室が狭く、できることが限られる。 子広遊のために作られた部屋では無いため、様々な工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	64%	36%	全介助の児童がいても人員配置は基準と変わらない その日のテストによって変わってくるが、スタッフの人数は数だけみれば満たしているように思うかもしれないが、しっかりと支援を行うためには工夫が必要 多動や影響がある子ども、スタッフが必ず付いていなければならない日など、その日によってスタッフがギリギリの事もあるある為改善希望。多動や影響がある子ども、乳児などが重なる場合など工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	73%	27%	指カード、お天気カード、それぞれ分かりやすくイラストなど写真になっているので、実際が分かりにくい子なども理解しやすい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	82%	18%	最低限の掃除は行えているがエアコンや換気扇の定期的な内部清掃は限りがあるため、改善が必要 荒もあるので汚れの定気も感じることが出来る スタッフ間で清潔等の衛生は意識している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか。	73%	27%	個別療育の際に隣の声がかなり聞こえてくるため、使い方の工夫が必要 しかし、千歳部屋を個別部屋にしたりとはしているが別に確保出来ていると有難い。 施設が狭い、部屋が足りないなりに工夫して使っている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	73%	27%	職員同士で集まって話せる時間があまりとれないため、工夫が必要 時間を取って定期的に行なっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	常に全スタッフが把握できる様、周知徹底しており業務にあたっている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的な会議によって改善点等話し合い業務改善に努めている スタッフ間の周知徹底で改善に向けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	64%	36%	定期的に必要だと感じる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	91%	9%	午前中から子どもを受け入れていると全員参加は難しく、工夫は必要
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	91%	9%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、変更しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	91%	9%	作成の時間が取りづらく、工夫が必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	73%	27%	児務者が中心に作成しており、共通の理解のためには工夫が必要だと思う 時間が思い中でも検討しておくなっている。その為に他スタッフの協力をしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	82%	18%	個別に見る時間が少ない時もあるため、工夫が必要 常に意識して支援にあたっている
	15	こどもの遠応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	91%	9%	実際、日々の子どもを見ながら確認を行うことは限りがあるため、工夫が必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	73%	27%	実際「地域支援」は、行なっていないが現実問題難しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	82%	18%	時間が無いながらも　定期的に行なっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	常に多方面からの刺激を持ってそれぞれが工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	82%	18%	定期的に見直しながら、日々支援を工夫してる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	スタッフ間でも決められた時間までに日々の内容を周知徹底を行い　連携がうまく取れている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	全体的に、常に子どもたちがいるため、話し合える時間が少なく工夫が必要 送迎等で中々難しいが、タイミングを見つけ行なっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	91%	9%	その日休みだったスタッフにも理解できる様に工夫している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年のサイクルで他スタッフとも共有した上で行なっている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	82%	18%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼稚園等の移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい者の部で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	73%	27%	必要に応じて、透園する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご家望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等療育活動を提供する機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	64%	36%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	36%	64%	近くの公園や児童館などに出かけた際、他の子ども達との多少の交流はある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	91%	9%	ハグ、送迎やお迎え時等を使って伝えしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	64%	36%	事業所における活動の様子を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう動かく お伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	82%	18%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	91%	9%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	91%	9%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	82%	18%	各事業所の苦情窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合窓付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	45%	55%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	55%	45%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	事務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	てんかん発作が起きた時に動画を撮る、写真を撮る、など保護者様にも理解見てもらえるよう、スタッフに共有できるようしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91%	9%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	82%	18%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	82%	18%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	91%	9%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	82%	18%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド057喜沢店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	ケガ防止のためソフトマットを敷いている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人数はいるが見てるだけの人が多いので、環境設験者が増えると支援の質が上がるのではないかと感じる
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	1日に何度も掃除をし、使用した玩具や椅子の消毒を徹底している。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	個別療育だけでなく、着替えをする更衣室として使用したり、クールダウンするのに使用している。空間は区切られているが教育ではないので外の音が気になることがある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月のスタッフ会議はもちろんのこと、日々のふりかえりを毎日行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもら支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	偏った活動にならないよう、固定性にして色々な意見を取り入れるようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	いい案があったらその都度伝えるようにしている。また、毎月、スタッフ間で話し合いを行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	40%	60%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をの確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド058城東店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	64%	36%	レク準備中や待ち時間の子ども達の待機場所の空間が狭く、一時的ではあるかもしれないがストレスを感じてしまう子がいる。 15人近く狭いと思うこともあるため、使い方の工夫が必要 年齢になり子どもが増えてくると、狭いと感じる。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	55%	45%	マンツーマンでつかなければいけない児童が多いときは基準を満たせていてもスタッフが足りないと感じることはある。 できる限り職員が残れるように追加を図っているが、利用者が少なくても利用者の特性によってはもう少し職員を増やしたい日もある。 追加に職員がとられてしまい、午後部屋に残る職員が少なく、工夫が必要だと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	82%	18%	電話やパソコンなど、子どもの手に届く所にあり、改善など必要だと感じることがある。また、トイレが1つなのでおやつの前など行列になることもあり、トイレの使い方など改善が必要だと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	55%	45%	室内通排を行う人が固定されている為、送迎時間も考えながら全員ができるようにするなどの工夫も必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	91%	9%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	45%	55%	皆勤、非常勤とで周知されていることもあるため、伝え方の工夫が必要。 目標設定や振り返りについて、話し合う場の工夫が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	55%	45%	職員全体（パート含む）周知の仕方に工夫が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	64%	36%	全体的な共有がほとんどない為、共有の仕方を工夫する必要がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	55%	45%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	73%	27%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	64%	36%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	73%	27%	金職員（パート含む）への周知の仕方が環境なので、分かりやすい周知の仕方が必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	73%	27%	モニタリングや気になる児童についてなど、定期的にスタッフ会議で議題に挙げて話し合いをしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	64%	36%	非常勤は共有の仕方が曖昧なので、工夫していく必要がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64%	36%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ねじ及び左図内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	64%	36%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	55%	45%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	82%	18%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	73%	27%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	64%	36%	非常勤は打ち合わせが少ないので、改善が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	皆勤はわからないが、非常勤は少ないため、工夫が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	73%	27%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	91%	9%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	82%	18%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	64%	36%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	73%	27%	園との関係共有していると思われるが、全体周知の仕方が曖昧なため、改善が必要 職員全体には周知されも概念が少ないため、改善は必要だと思う
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	64%	36%	同園があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	45%	55%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	82%	18%	その日の良かった事、気になる事など、細く連絡帳に伝えたり出す
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	55%	45%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	64%	36%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	73%	27%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	73%	27%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	82%	18%	管理者の方を中心に行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	9%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	73%	27%	mIXIを活用して行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	91%	9%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18%	82%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	64%	36%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	64%	36%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	82%	18%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91%	9%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	64%	36%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	73%	27%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	73%	27%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	82%	18%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	82%	18%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド060鳴巣店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	利用者が多い日はスペースが狭く感じます。間取りを片付けるスペースも足りないなと感じます。 祝日土曜日は利用者の人数が多い分部屋は狭いように感じる為、工夫が必要 部屋の大きさが利用人数に合っていないと感じることもある。教材を収納できる部屋も狭いため出し入れなど工夫を要します。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	外部へルプサービスの活用もあり正規職員の数が少ない。専門的支援が取れる人が少ない時もあるため、改善が必要だと感じることもある。 土曜日や祝日の利用人数が多く、スタッフが少ないので改善が必要だと思う。外部へルプサービスなどの活用もあるが、支援の内容によっては限界があるため、工夫が必要。 利用の多い土曜日、祝日の職員体制が不足していると感じることもあるため、工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	狭め空間の声などが聞こえることもあるので、工夫が必要だと思う。 部屋の壁の色を変えていることでメリハリがつきいいと思う。しかし、放デイと児発の天井が吹き抜けとなっているため、長期休みや土曜などメンバーの声が聞こえて午睡の時間なかなか眠れない子どもがいる為など工夫が必要だと感じる。 支援入ってすぐのロビーは児童が自分で靴けしの不行き来出来てしまう可能性もあるため、子どもへの適切な見守りも必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	窓が開かず換気が出来ない。感染症が流行る冬場など換気が出来ないため、空気清浄機などを活用する必要がある。 毎日掃除したり消毒して清潔感は保っている 毎日子どもたちが帰った後に床掃除やおもちゃの消毒をして清潔を保っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	88%	13%	放デイとの声が重なってしまうがやすらい時がある。また、部屋の壁が薄いて製がつており、兄弟の午睡時子どもたちが安心して眠れない環境などへの工夫は必要。 個別の部屋としてしっかりと部屋はあるが、天井が吹き抜けのため声が気になってしまうこともあり、工夫は必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもも支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	開始前にもう少し話が出来たらよいと思うこともあり、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	バタバタしていてなかなか時間が取れないこともあり、改善は必要。 迎えやお返え対応などにより、時間の確保の難しさがある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等関係機関との協議会や会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、職種別に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%	もう少し災害時等の避難訓練を取り組むことが必要だと思われるため、改善していきたい。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、軽傷などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の要望者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド061つくば店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	部屋を移動して上手くフロアを使っている トイレと手洗い場が別室なので、分けた方が良いと思う。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	40%	60%	保育士で障がい分野で働いてきたスタッフが必要だと思います 利用児童が多い日は、手のかかる子どもにスタッフが取られ、手いっぱいになっている
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	全ての扉に鍵がつけられている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	空調
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	部屋が別れていくつかあります
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	60%	40%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	風通しが悪く一部のスタッフが管理者を嫌がっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	グループプランを使っている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	80%	20%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	60%	40%	ケース会議をする時間がない
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	パートスタッフは児童の特性利用に至っている経緯を理解していないスタッフが多すぎる 共有しても自己流に関わるスタッフがいる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	40%	60%	レクリエーションをするスタッフが限られている パークだと密に協学時間が少ない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%	時間が確保されていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	60%	40%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介くお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	初めてしりました
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	60%	40%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	80%	20%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド063竹林店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	狭め標準部分や開閉時の期間など、児童が首を挟むなどを怪我をする危険性があるため改善が必要だと思う
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	常ディと利用人数を照らし合わせ、可能な限り助け合っている 適宜に外部ヘルプサービスを利用していて手厚い
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	児童発達はオムツを使用している児童も多くまた、使いにくりをしてしまう児童も少なからずいるため身体を洗えるような簡単なスペースがあることで、拭き残しや感染予防になると思う 広い活動スペースの設置(充当されてるため)が良い 表示などが分かりやすく貼られている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	汚角に散く児生スペースは狭も立ちやすい為 まめな清掃を心掛けたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	機嫌などパニックになってしまった時には、個室を使用することや本人や他児童の怪我のリスクを減らし、刺激を減らすことができている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	話し合いの工夫が成されている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	意味を取り合い、話し合いが成されている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	話し合って進めている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	モニタリングなどで保護者からのお話いや、目標などを全体に共有することで気軽に見返すことが出来ると思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの領域全てを網羅的に記載されているか。また、それぞれの支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	これまでの活動企画案によく目を通して進めている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	それぞれの成長に合わせた個人・集団活動を意識して進めている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	話し合っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	活動を振り返り 子供の様子から次への改善に繋げている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	お出掛けレク等では地域の子供との接卵やある程度の交流を経験していると思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ご家庭での様子を伺ったり、保護者様の悩みを聞くことが出来るようにしている 迷走時に お子様の成長を心を込めて伝えている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	兄弟で交流している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	入社したばかりなので未経験
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員誰もが手に取りやすく分かりやすい所にある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド064柏の葉店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	スタッフ同士声かけ合い、認識に入る時も分担してて見る。 最初はよく狭いかもと思ったが、慣れてけくし、工夫されての今なのかな、と思っています 夏休みなど午前からの利用者が多い際は午睡の部屋を二つに分けて距離しないようにしている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	職員の人数に余裕がなく、1人休まれるだけでもギリギリの状態になるため、工夫が必要。 急なスタッフの体調不良の時に助っ人が頼めると助かると思うこともある。 職員同士多少のことは融通し合って、柔軟に進めていると思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	書類の多い感覚、備品の多い感覚は、分かりやすく最近に入室禁止にしてより必要に応じて鍵をかけることができる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の掃除から始めたりの清潔など分担して行っています。 時間のある時には、それぞれがルーティンの清掃以外の掃除をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	その日の担当スタッフが使用する部屋等決め、声かけ合い分担して感覚の担当に入る。 狭い感覚でも、レクの準備や子供の状態などにより個々の部屋を使い分けている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	78%	22%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%	機会はあるし、改善にもつなげていきたいですが、一生懸命やって十分に手が回らないのが実情。工夫していく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ラインでささまざまなことを(報告し合うことで、臨機応変にやれていると思う
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	動画を用いた研修を行っており、視聴したものを見てレポートを書く
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	児発管の方が作成している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員共有のラインで、情報が回ってくる
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	全て紙の方でオープンになっている。必要に応じて紙も確認する。(課点は、ラインで共有している)
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	78%	22%	その場での対応などに時間を取られていることもあるため、工夫が必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	78%	22%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	78%	22%	レクリエーションカレンダー作りを複数のスタッフで分担して決定している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レクリエーション担当を振り分け、様々な職種の人が増々な内容のレクを担当できるようにしている。 個人のアイディアに大きく offる部分があるので、新鮮味はある 担当者を変えて様々な発想を取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	専門職の方々が取り組んでいる
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	78%	22%	フロア前に提示されているホワイトボードに1日の予定を書き、いつでも確認できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	送迎間り時間や出退勤時間がバラバラで、全員揃って話し合いができる時間を設けることができないため、共有の仕方に工夫が必要。 その場でラインに共有している 時間の都合上全員では行えていないため、工夫が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89%	11%	小さなことでもLINEに各げて全体に共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	専門職の方々が取り組んでいる
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	送迎の際や電話にて、連絡情報共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	56%	44%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	56%	44%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	89%	11%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22%	78%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	89%	11%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	78%	22%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド065阿見店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	静、動の活動で支援室が分けられている 部屋自体はそこそこ広いので探すことはないとおもわれる 静かに過ごす部屋、運動プログラム等をかかりやすくしており、利用者も使い易いと思います。 とても広いので満園したことも支援室でクールダウンさせることでも余裕で記念すことが可能であり とても良いと思う 遊具の構造上、午睡部屋と活動部屋の音がつつ抜けだらけの、落ち着いて午睡できないときがあるため、工夫が必要
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	スタッフ間でのコミュニケーションは図れている 動作で言えば児童2人に対してスタッフ1人、2:1の状態なので良いと思われる 利用者に対して、職員の配置を工夫している。 支援に困った職員にすぐに他の職員がフォローに入ることができる体制、人員配置で不適切なケアが起きにくいと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	バリアフリーではないところもあり、注意は必要。 今年作って並ぶ際に目印になる足跡のマーク、並ってトイレを行う際にどのような体制になれば良いかがわかるイラスト？写真？がトイレ内に貼られている等、工夫は行っている。 トイレに入るのに段差があるため、注意は必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃に加え、必要に応じて円状台を出せるようにしてある トイレは補助便座を使用しているが、可能であればこども用便座があると、使い易いと思います。 とても清潔である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	個室は完備されている クールダウンや個別療育を行う際、または遊びに応じて運動フロアと遊戯フロアの移動が可能
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	問題があると直ぐに改善策を検討する 面談含め時間を設けて行なっているところが良いと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	親子クラを毎月1日設けている 入所時に記入頂き、それをもとにスタッフ同士が共有しているので良いと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	疑問点等質問しやすく、意見もまずは聞いていただけるため、非常にありがたいです 月2回の全体職員会議とカまたのミーティングを行なっている。また園事務は北長方図書、グループLINEで共有している。 振り返り や共有の時間を設けているので、今後も続けたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月行い、レポートを提出している。 正職員だけでなく非常勤にも必要だと感じる
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、変更しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児発管が他のスタッフの意見も参考にしてくれていて、良いと思います。 非常勤に対しても支援に対する意識など都々と伝えられています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	スタッフに必ず共有しているので良いと思います。
	15	こどもの遠応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	スタッフ同士が案を出し合っているところが良いと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	スタッフに共有、不在のスタッフには、回覧板で周知徹底しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	グループラインを利用して、休みのスタッフにも共有出来るようにしている ので良いと思います。 個々で行われているため、全体で話し合う時間があってもよいと感じる。正職員が毎週話し合う時間は設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	簡潔的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	定期的なモニタリング、訪問診断など行われている。
	26	幼稚園等への移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連園する幼稚園や保育園の方との情報共有を行なっております。
	27	就学等の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹担する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でめのこどもと活動する機会があるか。	58%	42%	園に且くことはないが、公共施設の利用はある 地域のお子ども支援施設やに園を利用しているので、地域の子どもさんとの交流をする機会がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時にスタッフ同士が状況を書き込み、共有しているので解り易い。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	月1回の親子レクリエーションの機会を設けているのは非常に良いと思う 月一度の親子レクリエーションを行なっているのでユ充していると思います。
非常時等の対応	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	アセスメントを十分に行なっている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただ き、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	親子レクでの交流機会を設けている 月一度の親子レクリエーションで交流する機会を設けているので良いと思います。 毎月土曜に行われている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ミーティングを行い対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	92%	8%	写真を掲示している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	情報の取扱いに関しは留意しているかと思いますが、緊急時に個人の携帯を使用せざるを得ない状況もあるため、改善は必要。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	分かりやすい言葉やベースに配慮している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	事務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	スタッフが解り易いように、事務に掲示している。また、スタッフ同士食物アレルギーの利用者が来所の自日に声掛けをしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	月一度振り返りを行なっているので良いと思います。また、気付いた時にメモをして共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	チェック表や虐待防止委員会設置、スタッフ間で虐待に繋がらないような対応の意識付けを行なっている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド066上大久保店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	余裕がある日と明らかに足りていない日(時間帯)がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	前回の保護者の意向は何件か見たがその後の改善にはつながっていないため、具体的に改善を考えていく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの項目すべてを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	慣例に従って担当者様人に任せている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	(センターではないため回答なし)		
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド067古河店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	距離感が近い職員がいるため、お互いに声掛けなど必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	足りない日もあり危険を回避出来ない不安を感じることもあり、工夫が必要。 迎送のため職員配置が手薄になる時など、工夫が必要だと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	子どもに分かりやすく、視覚的な教材を増やした方が良いと感じることがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	44%	56%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	44%	56%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれで、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	朝の打合せなどは無いため、毎日行なうべきだと思う。時間の使い方などと工夫を要する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	支援終了後も打合せや振り返りなどの時間を取りづらく、明日以降の支援に繋がりにくいと感じることもあり、改善が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	56%	44%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等首児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	44%	56%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	89%	11%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	ご家族が参加できる研修などは行なっていないと思う。年に数回、研修の機会を設けても良いかもしれない
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	78%	22%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を行せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	保護者同士の交流の場を見た事がない。学園ごとに1回などあると保護者も安心する気がするため、工夫は必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	44%	56%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	78%	22%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	89%	11%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド068伊勢崎店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	棚を含めた環境のレイアウトを見直す必要がある
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititi児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってあり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド069川越店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	利用者に応じて、提供するものを変えている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格の有る職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の掃除を欠かさない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	88%	13%	気持ちが昂ってしまった時などに安定にて気持ちを落ち着かせることがある。 個別室が乱雑になることがあり、定期的な清掃が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的なスタッフ会議や振り返りの実施を行えている。 毎日の朝の申し送り、帰宅後の振り返りを行なって全体で共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	保護者意向の具体的内容を聞かされない場合もあるため、工夫が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝の申し送り、帰宅前の振り返りで一人一人から意見を聞いている。 声の大きい職員の影響が強くなることもあるため、工夫が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修動画を観たり、希望者はそういった講義に参加している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	各スタッフに聞き込みをして支援計画を立てている。 一部の職員間では共有されているが、それ以外の職員の意見しずらさも感じることがあり、改善が必要。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの観点から具体的な内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	各スタッフからのレク案の提出は必須で、出された案を元に担当者が決めているが、もう少し話し合いながらレクを決めることが出来るような工夫が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	話し合いながらの検討など行う必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	個別活動があまり実施できておらず、目的などを明確にした個別などを行えるよう工夫が必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	複明申し送りをしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日帰宅前に振り返りをしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者に伝えて、朝たに出た情報などをスタッフ間で共有している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	事業所全体としての意見を伝える形になっていないため、伝える工夫は必要。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ハグのメッセージでいただいた悩みを回答したり、個別面談している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	知らない
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	63%	38%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	名前の書いある用紙はメモに使わず、必ずシュレッダーにかけている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	知らない職員もいるため、全体共有の仕方の工夫は必要。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギー表を作っており、感覚確認できるようになっている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その日あったヒヤリハットは都度スタッフ間で共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド070前橋東店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	トイレや手洗いの数が少ないため、工夫しながら使用している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	当日のレクリエーション、個別療育に関して朝礼で説明を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	当日のレクリエーション、個別療育の様子、児童の様子について話し合いの場を設け、LINEにてその場に居ない職員への共有も行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ججの児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	33%	67%	相談があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	不明点があった際には、電話や対面にて都度説明するようにしている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談があった際には職員で共有し、改善案を検討のうえ出来る範囲内での対応を行っている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0%	100%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド071南浦和店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	楽しみながら活動を行う事が学習に繋がっている支援を行っている。 昼食後など、安易に動画を視聴させず、ぬりえやお読みやブロック等を行っている。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	お花を飾るなど、工夫は行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	29%	71%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	71%	29%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の ねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	71%	29%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家庭の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	71%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	86%	14%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド073本店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	広いスペースがあるのでのびのびと活動できている 十趣室と個別室とホールなど、壁で完全に区切られていないため、音や声がもれ、静かさを保つ空間がないところは改善が必要だと感じる。 毎日入れ替わる活動のための下足箱やロッカーを各年齢にしたのはいいアイデアだと思う。 学習机やロッカーの位置で子どもの動線がスムーズになるよう配置するなど工夫している。発達支援スペースとフリースペースでの音の違うができると良いと思う。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	職務配置は適切である 若い数名は活発なスタッフがいて欲しい 毎日欠席の職員があるため、もう少し余裕を持った人員が必要だと感じることがある。 送迎、休憩時間の配置を重ならないよう工夫している。ギリギリの職員配置なので、人員を増やすことによって、安心した支援につながると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	広いスペースで段差もないので安全に遊べている 曲線のカネと窓にカーテンがなく、本棚目塞しが中まで差し込むことがあり、工夫が必要。 学習エリアと運動エリアをラインを床に貼り付けて仕切るなどの工夫は行っている。レクの準備中に落ちついて待てるスペースを作る必要はあると感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	職員さんが協力して毎日清掃等をしてくださっているので清潔 職員・子どもの敷に対してトイレがーつしかないのが不便である。 介助に入ると狭い為トイレを広くして欲しい 日誌や室内整備を整理したり、清潔しやすいよう収納には整理用袋を使用するなどの工夫をしている。清潔チェック表など用意する点など、少し改善できると良い。 展示がなく、子ども自分から分かりやすい環境だと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の部屋は用意されていて必要に応じて使える ふたもっの置き場が中途いため、工夫が必要。 個別の部屋は複雑されていなが、子どもにも何に使用する部屋か分かるよう絵や文字などのプレートなどをつけるなどの工夫は必要だと感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	女子さんのことは話し合いを行い対応について検討している 打合せは時々あるが全職務までに指示が行き渡っていないため、改善が必要。 日々のミーティングで、共有しているが、短時間勤務（パート）の職員も同様できるような工夫が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者様からの意望は無理のない範囲で対応させていただいている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	毎月2回ミーティングを行いその場で決定したことを改善している 日々のミーティング、月のミーティングで共有することが出来ている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修を実施している 会社での研修はないが個人的には行っている。 毎月研修を行い、希望を提出しているが、外部で行われる研修にも積極的に参加できると良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	毎日職員で取り組んでいて、ハグで内容の発信も保護者に行なっている 適切にできている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	作成前にはモニタリングを必ず行い作成している 適切にできている、共有もできている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	モニタリングなどの情報共有を行なっている 日々の報告、モニタリングの検討に検討している。もう少し頻繁にケース会議の機会を設けるとより良いのでは、と感じる。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画は職員がいつでも確認できるようにしている 更新する毎に、確認しないつでも見られるようにしている。集団の中では支援がしきれないので、個別療育を増やして個々の課題に向き合う支援をするなどの改善は必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により課題としているか。	100%	0%	個別支援計画の更新の際に振り返りを行なっている 職員間の共有、改善、日々のやり取りができる
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	5領域を必ず組み込んで計画を作成している 保護者の意向が主で、児童の重要な課題から遠れている部分もあるため、子ども主体にすることも必要だと感じる
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	何かあれば相談して行なっている 職員で、それぞれ案をだしている。なお、遊のうちに重複する内容が多いので、バランスよく案をだすことも必要だと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎月レクカレを作成して対応している 新しい案を出し合うことは出来ているが、まだまだ固定化されているので、さまざまな側面から考えることも大切だと思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	教室の状況とあるが個別支援は月に一回は行えるよう配慮している 室の中では個別、集団それぞれ入っている。なお、個別の時間をもっと確保できると良い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	30%	事前に当日の確認は行い、送迎担当ごで動きの確認を行なっている 朝、決まった時間に打ち合わせしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気がいた点等を共有しているか。	70%	30%	必ずではないが支援終了後にお子さんについて話を行なっている 私はお昼までの勤務なので参加が難しいが、行えている。 記録の入力など閲覧できているが、詳しく話ができる時間の確保が必要だと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	支援の記録についてはハグで保護者へ連絡を行っているので毎日対応している グループ内ラインでの確認・共有がなされている。 記録は行うことが出来ているが、記録者以外も必ず確認できると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低でも半年に一回は必ず行なっている 定期的にモニタリングを行っている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	関係される場合はお子さんの様子が分かる職員が参加している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	保育園や幼稚園とは送迎の際に毎回ではないがお子さんの情報交換を行なっている 連携の密度が薄いと感じる。もっと積極的に連携する必要がある。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	他事業者や園と相当密な議論を行なっている 支援は行っているが保育園等との情報共有が少ないため、各施設での集団での様子をもっと踏まえるべきだと感じる。
	27	就学等の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	70%	90%	学校との連携はできていないが学校から連絡があった際には情報共有を行う
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	90%	10%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	図書館や児童館に出向いての活動がある。 交流は少ないと感じることもある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者からの相談やこちらで気になることがあれば保護者様と話を行なっている 共通理解に努めている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	ペアトレや家族に向けた研修はできていないため、工夫は必要。
	35	運営規程、支援プログラム、おそさま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に全てご説明させていただいている 関連者、責任者が丁寧に行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	必ずモニタリングを行い保護者の意向を確認している 最低は、設けているが、子どもの最善の利益が全て明だと感じる時もある。保護者の思いが強いと感じる場合もある。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	90%	10%	現在はハグにてデジタルサインでの対応になっている為対面での対応にはなっていない。 しっかりできている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて対応を行なっている 適宜行っている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	交流は行っていないため、工夫は必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	対応している 迅速に対応できている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月レクカレを保護者に郵送し発信を行なっている 発信は、行っている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付きの書棚に保管している 十分注意している
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	できるだけわかりやすいように対応している 個々の状況に合わせて配慮している
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%	地域住民との交流はない。図書館などの公共施設との交流はある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	避難訓練を毎年2回実施している マニュアルの確認と訓練を行っている。 火災や地震は訓練するが、不審者対応が訓練できていないので実施するべきだと考える。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	毎年2回行なっている 行っている。訓練の日の利用者はできるが、送迎していない利用者とも訓練できるよう配慮が必要
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約の際に確認を行なっている 確認している。分かりやすいよう利用者名札に印をつけている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の指示書については提出をしていただいた際、対応をしている アレルギー調査を行っている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	安全計画は作成済み　安全管理には配慮している 研修と、措置の確認をする
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%	している
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎回必ず行なっている しているが、徹底していないので、定期改善が必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	毎年研修を実施している 研修している。 研修、及び日々の支援の振り返り、必要に応じて検討している
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	身体拘束を行わなければいけない場合には行なっている どこまでの説明をしているかは不明であるため、徹底した方針を説明する必要を感じる

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド075柏店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	子供達の目標に合わせて使っている所が良い 基本的には問題ないが、個別対応できる部屋があればよい 子供達が楽しく創意ない様な活動プログラムをこがやっている。 工夫している点は、玩具や活動道具の整理・収納、トイレが！つしかなく、トイレトレーニングが進めにくいところは改善が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	土曜日の日の職員の数をもう少し増えると良いのではと感じる。 基本的には良いが、イレギュラーマム数が足りなくなった時に対応が難しいため、工夫が必要。 長時間勤務など職員の勤務の改善余地あり 朝礼で健康面、安全面で考慮が必要な児童の共有をしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ドアが引き戸でないので、子供が足を挟みそうで不安になる。ドアの閉閉の際に、注意が必要。 フロアにマットを敷いて怪我のリスクに備えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	子供達がいなくなった時間で職員が清掃を行っている 職員が気にかけて清潔を意識している 感染症対策も徹底している 改善:保護者起点が就業時間外リモリな事が多く、フロアの掃除が次の日に移行される。就業時間を守るすなど、その日の5ちに環境を整えられる工夫が出来れば良いかもしれない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	75%	25%	個別の部屋を1人では使えないため、子どもが機嫌を起こした際は声掛けなどをせず落ち着くのを見守っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	年に2回自己評価表を提出してもらい、連絡を行なっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日のミーティングで共有している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月の定期的な会議で共有している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の研修や定期的なものに参加している。キャリアアップの研修が充実していると良い
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した発達が行われているか。	88%	13%	職員が共有している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つ公文援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	基本的には共有されているが、全体把握が不十分な時がある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	話し合える環境はある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等関係児支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご以降のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド076西城南店PLUS(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	個別の記録がいくつもありクールダウンに使いやすい 距離が短い、トイレの数が少ない為、使用の工夫が必要
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	1対1での関わりが必要な児童がいました。もう少しスタッフの人数が増やせれば安心・安全により良い支援ができると思います。 一日のなかでも、午前中のみ/午後から利用、1日利用と様々の中で、常常勤さんの出勤時間を調整させてもらっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	段下の広さ、手洗い入口の段差など気になる点はあり、使用時の工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	常に、整頓して清潔を心掛けている 換気を徹底している。危険な場所にはカバーをつけるなどしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	90%	10%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議の定期的な開催。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	保護者様からの要望等、LINEで都度共有されている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	職員会議で出された意見をもとに、療療等を考えていく 管理者に意見を伝えやすく、共有もされている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的な研修動画の視聴を行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	90%	10%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	90%	10%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	レクリエーションの記録書を事前に共有し、スタッフ全体に周知を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に関げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等首児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	40%	60%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳での日々の日の児童の様子を伝達している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をの確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	70%	30%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を図ること訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	90%	10%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	80%	20%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	些細な事案でも共有し、すぐ対応している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド077新伊勢崎店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	人数や荷物等を置くにたいして狭いため、工夫が必要 定員が全体的に狭いため、活動の際の工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	子どもの欠席などにおいて職員が余っていると感じることもあるが日々のトータルからすると適切
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃や伝員のアルコール消毒などを行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	いつまで相談できる環境がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	月一回の勉強研修がある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	70%	30%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	90%	10%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってあり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行ってあります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってあります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有してあります。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってあります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド078土浦店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	支援室がワンフロアのみ。活動に合わせてツイタテを用いて集中しやすいように空間作りをした。 フロアが一つしかないため、動くときと静かにするときの切り替えが難しい
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	79%	21%	利用者様の活動の切り替えがしやすいように提星移動させながら受している。 マーキング固当ができんとついてるのは良い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	79%	21%	危険性がある場所を日々確認をしている。 狭いフロアなり に工夫はされているが、ワンフロアだと提供できる対応が限られてしまう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃を欠かさずに行っている。 子どもたちを配慮して、必要最低限のものしか置かず整理整頓されている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	個別室は入っても利用者様が安全なように整理整頓をしている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	71%	29%	定期的な個人面談がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	評価の内容を共有し改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	93%	7%	定期的な職員のミーティングなどで話し合いをしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%	内容の共有で改善策を話し合っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	職員の研修参加がある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	86%	14%	個別の支援計画を共有している。 資格を持っていない方も動めているため、個々の支援内容が一覧でわかるようになっていると良いと思う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	日常生活の発達や成長の観察をおこなっている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	79%	21%	日々の利用者様の気づきの共有を行っている。 悩んでも良いので職員全体で意見交換ができる時間があるとよい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	64%	36%	個別支援計画書の確認を行なっている。 専門職内では共有されているが、他職員が共有しているかどうかわからないため、工夫が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64%	36%	計画書について確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの項目すべてを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	個別支援計画書の共有を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	93%	7%	スタッフミーティングで話し合いを行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々の利用者様の生活についての見直しを検討している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画に沿った支援を行っている。
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	64%	36%	役割分担はしているが、打ち合わせの時間は確保されていない。現状、時間を確保するのは難しい、個々で確認するしかないように感じる為、工夫が必要。 スタッフミーティングでの話し合い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	活動時間をそれぞれなので、その日のうちに振り返りをするのは、難しいと感じることもあり、工夫は必要。 スタッフミーティングでフィードバック。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	79%	21%	日々の利用者の共有を行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	対面でのモニタリングを実施。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	支援スタッフとの共有実施
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%	日々の確認を行っている
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	71%	29%	園との情報共有を行っている。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	64%	36%	園との情報共有を行っている。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	86%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	家族様との情報共有はある
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	43%	57%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、おやさま負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%	重要事項の説明を行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	モニタリングでの実用をしている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	71%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	日々の利用状況の確認を行っている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	93%	7%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	93%	7%	日々の注意喚起をしている。 個人のスマホの使用を行わざるを得ない時があり、使用には十分な配慮が必要。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	モニタリングでの共有を行っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	93%	7%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	93%	7%	誤飲等、緊急時の対応やAEDの使い方の研修実施など、検討が必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	93%	7%	共有はできているがその後何ごとがないために注意するだけになりがちなので、改善策の共有など行っていく必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや家族等に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	79%	21%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド079東大宮店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	特性のある児童が活動する場なので、トイレなどの段差などは改善が必要だと感じることもある 程よいスペースと方に工夫されていると思う
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	91%	9%	細かに配置されており都度利用者の状況に合わせていると思う
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	82%	18%	午睡室や面談室の上部が障室と天井続きになっているため、音が全部に響いてしまうため、工夫が必要 シンプルな構造で図にもわかりやすいと思う トイレの段差などバリアフリー化はされていないと感じる部分もあり、工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	職員の置からが常に視生面に配慮する雰囲気が出来ている トイレの壁面、手洗い場に関しては、こども向けのかわいいと思うこともあり、使い方に工夫が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の設備や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	91%	9%	適度な広さの午睡室が設置されており都度チェック表にて状況把握出来ている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	常に改善される雰囲気が出来ていると思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	73%	27%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月に一度ミーティングを開催、背動、知育勉問わず、議題を上げてもらい話し合っている。また、質問しやすくなるよう、スタッフ間のコミュニケーションを円滑に図るよう努めている 誰でも提言出来る雰囲気と客観音での定期会議がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	55%	45%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	店舗研修を行ってディスカッションしたり、支援に必要な情報発信を管理者や児発管が発信している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者から具体的な要望を聞き出し、現場のスタッフに周知している。また、必要な支援方法を具体的に伝えている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が、現場のスタッフに支援方法などを打診したり、相談したりしながら、支援が統一出来るよう努めている 職種的に情報を共有できる環境及び台帳である
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	LINE等を使用して、リアルタイムで支援方法を共有することがある 情報共有がオープンになされていると思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	82%	18%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月レクカレンダーを作成し、スタッフ全体で内容を作成したり共有したりしている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	91%	9%	集団レクと個別対応や学習の時間等で、バランスよく組み合わせている
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝スタッフミーティングを行って情報共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	73%	27%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	27%	73%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	64%	36%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	91%	9%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	9%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91%	9%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27%	73%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	82%	18%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド080学園の森店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	設定と大部屋が隣接されておりとても良いと思うが、大部屋での声や音が設定にもはっきり聞こえてしまうため、音に敏感な子は集中しにくいと考える。 基本的に、子供たちをさせずに、部屋でグループ分けをして活動したり、時間を区切って効率よくトイレ誘導したり、座って活動させたりしている。15人の子供たちを基本的には、1つの大きな部屋で同じ ようための動線問題も活用しながらしなければならなくなる点は工夫が必要。 利用定員に応じた活動スペースを確保し、活動内容に合わせた環境設定を行っています。個室については1スペースが割られており、使用時に圧迫感を感じることがあるため、より適切かつ快適な環境となるよう配慮や活用方法を工夫していく必要があります。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	不慣れなスタッフや身体が不自由なスタッフがいるなか、それを1とカウントし仕事するのはとても大変です。 子供たちの特性に合わせてスタッフを常につけているが、利用児童が増加していて常にキャンセル待ちがある点については工夫が必要だと感じます。 利用人数やこどもの様子に合わせて職員配置を調整し、欠として適切となよう配慮しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	時計の周りに、アンパンマンのキャラクターが描られており生活をしながらこどもたちが時計を学ぶことができる点は良いと思います。 児童が分かりやすく安心して過ごせるよう、活動に合わせた環境づくりや配置を工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	アレルギー持ちの子を1つの席にし配慮しながら一緒に食事をしている点は工夫している点だと思います。 児童が気持ちよく過ごせるよう、清潔な環境を心がけています。整理整頓が行き届いていない部分もあるため、今後も環境を整えていきたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	83%	17%	お昼寝を、子供たちにしながら適切な場所の使用を昼につけさせている点は工夫している点だと思います。 児童の様子や必要に応じて、個室や落ち着いて過ごせる場所を使用できるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	非常勤配慮のためあまり目標設定などを把握できていないところは、工夫が必要 毎朝申し送りが各1円毎な情報共有や意見交換ができている 毎朝の申し送りやLINEを活用し、児童の様子や気づいたことなどをスタッフ間で共有しています。
	7	保護者向け評価面により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	保護者からいただいた言葉をLINE、line、申し送りの際に共有し、全職員の業務改善につなげている 保護者様からいただいたご意見をスタッフ間で共有し、日々の支援や環境づくりに活かしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝の申し送りで職員が情報共有をする機会が設けてある 毎朝の申し送りやLINEなどを活用し、スタッフの意見や気づきを共有しながら、日々の支援に活かしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	外部との予定があるときには、送迎表に記載してある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	92%	8%	情報が届き次第LINEやロ頭で共有している 月1回、会社で決められた研修を受講し、スタッフの知識や支援の向上につなげています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	92%	8%	ファイルが、事務室にまとめられており閲覧が可能な点 支援内容を利用予定表に記載し、保護者様にお渡ししています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	92%	8%	支援計画をどう立てているかいまいちわかっていないため、工夫が必要 モニタリング（面談・親子イベント）を通して定期的に確認を図っている 児童の様子や保護者様のご希望を確認しながら、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	注意点や聞もり方などを共有していただけてる 職員間で気になることがあった際にLINEや申し送り時に協し合っている スタッフから児童の様子や支援について意見を聞き、共有しながら個別支援計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	92%	8%	把握できていないため、改善が必要 児童の情報が要かたファイルをまとめて事務室保管されており、閲覧が可能 個別支援計画をスタッフ間で共有し、計画に沿った支援ができるようにしています。
	15	こどもの通応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により課題としているか。	92%	8%	有効なアセスメントの書類が一式保管されている
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	92%	8%	把握できていないため、改善が必要 定期的に情報が更新されている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	カレンダーを作成する際には誰もが立案できるよう全職員の見える場所に下書きを掲示してある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	合同レクや地域の資源を取り入れ新しいことに積極的に挑戦している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	多種多様な職員を配置し個々の児童に効果的に支援ができるよう対応してある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝の申し送りを習慣化しているため気軽に打ち合わせができる
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気がいた点等を共有しているか。	83%	17%	職員が気づいたことがあれば口頭やLINEで伝える環境環境がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	朝の申し送りをノートで記録をとっている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	職員間で児童の継続観察をし、適切な見直しを行っている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼児期から学校教育への移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、透園する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご家望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	83%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	お出かけレクなどを設けている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう働かく台位えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご出席のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、援助や必要な助言と支援を行っているか。	92%	8%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	親子参加のレクを設けていることがある 親子レクレーションを行っている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の妥当窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	58%	42%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	92%	8%	事務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所内でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド081筑西店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	未就学と小学生が混在している 放デイの児童と別にスペースで活動しているため危険である。マットなどで区分けして活動はしているが、手動の児童が多い場合は対応が難しい場面があり工夫が必要 支援しやすい環境である
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	送迎が重なると保育が手薄になってしまう場面もあるが、今いる職員で柔軟して安全に過ごせるようにしている。保育の質を担保するならもう少し人がいると一人一人の子どもともっとじっくり関わることができ、保育の質の向上にも繋がる。 放デイ児童の送迎などがあると手薄に感じることがある。 適切な配置数だと感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	バリアフリーで歩行しやすい 玄関に段差はあるため、配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々清掃や衛生面に配慮出来ている その日の肌、子ども好きで清掃している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	静養室が使用可能
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	88%	13%	日々のミーティングで話し合い出来ている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	保護者と話せる時間が設けられている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	このようなアンケートの実施の機会がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	小さい事でも必ずみんなで共有する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月勤務研修が確保されている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	作成も公表も確認済み
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	確認や話し合える場も設けられている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	確認や話し合う機会がある
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ミーティングで共通理解出来る
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	もう少し確認出来る時間や場が欲しい
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの項目すべてを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	設定されていて分かりやすい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	チームとしてもっと協力して欲しい職員もいる
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	試行錯誤しながら工夫している みんなで意見を出し合い進めている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	チーム全体が把握しているか多少気になるため、工夫が必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	打合せは出来るが協調性の低い職員もいるため、配慮は必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	日々ミーティング実施している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録を見ながら検討改善が出来る時間を設けてあるとより良くなると感じる為、改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	出来ていると思うが詳細を短る場が少ないため、工夫が必要
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	参加しているのは聞いているが詳細詳細が分かりにくい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	一部連携は出来ている
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	お互いに連携や協力していると思われる
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	63%	38%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	13%	88%	地域の行事に参加できればいいと思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	もう少し交流の場を設けても良いと思う
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	情報共有はあるがその他の詳細が分からない
	35	運営規程、支援プログラム、お子さまと負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	時と場合によよる
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	88%	13%	充角営がそのようにしていると思われる
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	充角営がそのようにしていると思われる
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	もう少し相談された内容共有が欲しい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理者がそのようにしていると思われる
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	ブログで確認出来ている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	管理者より取り扱い説明が出来ている 徹底している
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	全体への詳細説明があるとより良い支援につなげることが出来るため、工夫は必要
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	訓練や職員への周知は出来ているが家族は分からないため、必要に応じての周知があると良い
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	徹底されている
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスやミーティングで把握出来る 書類等でみんなが見れるようにしている 細かい情報も確認している
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーは事前に説明がある 書類等でみんなが見れるようにしている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その都度共有や再発防止についてはせる場はあるが職員の言動にも気づかいが必要だと感じることはある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	動画研修を設けられている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	周知は出来ている

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド083西川田店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	少ない時もあるため、支援には配慮が必要 利用児童によっては、人数の不足を感じる 特性の強い お子さんが重なる時には人数を増やすなど、改善が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なって おります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つ(5領域+地域連携)の視点に基づいた適切な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家庭の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	92%	8%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	92%	8%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってお ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってお り、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてお ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92%	8%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド084圓澤大学前店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91%	9%	イラストなどの視覚支援があるとさらに良いと思うため、改善が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	91%	9%	もう一つ部屋があると適切な支援につながると感じることもある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	55%	45%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	91%	9%	もっと専門性の高い研修がしたいと感じることもある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	91%	9%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	91%	9%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	73%	27%	子供の状況を把握する機会はあるが、作成のための機会かどうか分からないため、工夫が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	82%	18%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	82%	18%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	91%	9%	年長と2歳児が同じ集団でできるものがほぼないため、集団といえどもレベル分けは必要と思う。 個別支援の内容と評価が周知されていないため、支援の際に工夫が必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	91%	9%	必ずではないがたまに行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	振り返りは行われていないため、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	ハグでの記録がまになるが、それだけでいいのか検討が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	73%	27%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	45%	55%	特別支援学校とは、連携とれていないのが現状なので今後は、連携していきたい
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非常況通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	36%	64%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	9%	91%	そのような関わりがないため、工夫は必要
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	45%	55%	今後行っていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18%	82%	交流の場を設けていきたいと思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	73%	27%	現在していないので、改善は必要。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	私用携帯を使用しなければならない場面があるため、LINEを中心に個人情報の保護への配慮は必要
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18%	82%	ニーズにより難しいことも有り、改善が必要
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の指示書はないが、アレルギー対応は行ってる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド085小針店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を守る訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	80%	20%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド086熊谷店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	82%	18%	個室や仕切りがもっと必要 パーテーションなど必要に応じて仕切りができると良い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	55%	45%	今の職員数では安全に通こすだけで精一杯な面がある。個別支援・療育につなげるため、工夫が必要。 人数がギリギリのため、余裕のある支援のための工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	82%	18%	転倒したりすることがあるので床はクッション性のあるマットの使用などの工夫は必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	82%	18%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	64%	36%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	64%	36%	管理者からの共有の必要性を感じる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	55%	45%	意見は伝えているも業務改善に繋がりにくい部分があり、工夫が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	45%	55%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	82%	18%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	73%	27%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	73%	27%	AIの活用などもも行われているが、その使用については記載は必要だと感じる 日々の目の対応に追われ、個々のニーズに対応するまで余裕がない気がするため、工夫は必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	73%	27%	作成する段階で制限時への相談が十分でないこともあるため、工夫が必要 検討内容の共有が不十分なため、方針を共有することが必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	73%	27%	パート・アルバイトへの情報共有の仕方への工夫は必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	55%	45%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	73%	27%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	91%	9%	児発管以外の職員チームで行っている場面もあり、改善は必要。 正職員はチームとして機能しているかもしれないが、それ以外の参加が難しい場面があり、改善は必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	91%	9%	職員で意見を出し合って工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	82%	18%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	91%	9%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	91%	9%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	91%	9%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	73%	27%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	73%	27%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	73%	27%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	児発管以外の職員が提案、計画、実行、報告している 相互に保学生おこない、情報共有をしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititi児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	55%	45%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	45%	55%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	82%	18%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	45%	55%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介くお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	82%	18%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	82%	18%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化などに対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	91%	9%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	82%	18%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	82%	18%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	55%	45%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	64%	36%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	91%	9%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	73%	27%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	91%	9%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	91%	9%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド087上尾店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	床板の表が小、狭さなど、使い方に工夫は必要 室内で自由出来る程度が使いやすい。 活動のスペースはもう少し広い方が良いとは思うが近隣の公園など遠び場に使用しているので良いと思う
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	利用者が多い時に職員が少なかったり逆に少ない時に職員が多い昨があるため、支援の質の工夫は必要 利用しているこどもの人数に対してスタッフが少ないことがあるため、工夫が必要。 利用人数が多い日にスタッフが少なく利用人数が少ない日にスタッフが多い等もあるため、改善は必要。 長期休みなどはもう少し人員が必要と思うときはあるが普段は適切だと思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーセや情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ホワイトボードに共有している スタッフ間で情報を行っている。 バリアフリーで感覚散る多くないのでこどもにわかりやすいと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	オムツ等の管理など工夫している 生活空間がわかいり和に仕切りができるような工夫は必要 気づき次第、清掃している。 収納スペースが少ないため、工夫は必要 ワンフロアを最初はしきっているが、レクには遠んやの仕切りをよけて広いスペースのワンフロアにしているので広々感覚できるので良いと思う
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	場所を移動させたりしている 活動に応じて使用している。 体調不良時など個室対応できるようになっている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	話し合いしている もう少しマメに職員会議が出来るととより良い支援につながるため、改善は必要。 スタッフ間で気になり合いしアかれカンジーに取り入れている。 改善点などニュースレに意見が求められて良いと思います
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	電話、メールでやっている もう少し周知出来るとよいかと感じる為、改善は必要 表では無いが、専用ソフトや送迎時に確認を行なっている。 管理者からの発言が不足していると感じることもあるため、改善が必要 保護者の意向をもっと細かく具体に伝えて欲しい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	話し合いしている 確認を行い取り組んでいます。 現場のスタッフ対立はできている 管理者から意見を聞かれる機会が多いので良いと思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	88%	13%	意見を聞いている 関係各所の意見を聞き、取り組んでいます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	している 毎月行っている。 毎月研修があり知識を得る機会は多いと思う
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	モニタリングを行い実施。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	最近の様子を出し、聞き取りを行い出来ている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	非常勤の方たちへの伝達ももう少ししたほうがいいと感じることがあるため、改善は必要。 様子を確認し、対応を共有。その上で作成している。 実際の子どもの姿と親が思っている姿は違うこともあるため、伝え方など工夫が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	作成時に、方針を伝えている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	専用ツールにて、報告している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	対応例を挙げながら、可能な限り行なっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	意見を出し合い行なっている。 各日にちでレクの担当者を決め それぞれが様々なプログラムを練っているので豊富なプログラムで行える
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	色々な職員が受け持つ事で様々なアイデアがでている 以前行った内容をフィードバックはしているが、違う内容にしている。 毎日レク担当が様々なレクを考慮しているので固定化していないと思う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	特性に合わせて、行っている。 レクや食びつは集団活動を中心に生活面では個々にその子にあった活動がされていると思う
関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	もう少し打ち合わせはした方がいいと感じることがある。 事前に話し合い、決めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	振り返りの時間を持てるようにとりたい スタッフの退勤時刻は遅い、その日中の打ち合わせは難しいため、改善は必要。 改善点や良いところを把握し、次に繋げている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	スタッフで確認出来る様に、専用ツールや情報共有を行なっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	送迎時やモニタリングの際にお伝えしている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	事前に資料を作成し行なっている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域性民生めて行なっている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解等を図っているか。	100%	0%	保護者や市の担当者さんと共有しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	電話にて、行なっている。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、模倣的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	引き取りの際排しく中っている レクを通じて行えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や電話にて行なえている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭でのお話にご活用いただけるよう撮かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、おそさま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	専用ツールや送迎の際に行なっている。 ハグなどを有効利用して説明を行っていると思う
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	専用ツールや送迎時に、行なっている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画への同意を得ているか。	100%	0%	追加事項直めて行なっている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	最近の様子から取り組んでいます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	電話・連絡・専門ツールを用いて行えている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、道路体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	本社にて実施している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	遵守しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	ご家庭によって、会話をゆっくり伝える。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	活動に取り入れて居ます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	改定次第、連絡。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%	年に数回実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時や体調不良時に確認しています。 応援の昔からかかるところに対応が得られている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食品を確認し、摂を避している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年に数回行なっている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との業務が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	避難場所を伝えている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	専用ツールにて報告・共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	それとは別に、スタッフ間で行動の是非を検討し合っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	スタッフ・保護者さまに確認・共有を専用ツールや送迎時に伝える。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド088大間々店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用されている子供に合わせて、部屋を分けて使用。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	2部屋使い利用定員に対して職員を配置している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	子供達が落ち着いて話せる様にしている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	出勤等で、常時確認しております 子供達の日頃の様子などを職員で意見を出し合っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	動画での全体研修はあるが、職員が標準的視点や専門的知識の土台を持たないまま業務にあたっている事例が多く感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	フォーマルなアセスメントも取り入れていきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な期間が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	86%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	ペアレントトレーニングを行える体制を整えていく必要があると感じる。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	86%	14%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	報告書の作成、共有は適切に行われているが全職員の意識向上にはつながっておらず似た状況での事故が繰り返し起こってしまっているため、改善は必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	出勤簿での情報共有が少なく閉鎖的になりがちに感じる。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド089深谷店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	おもちゃは1種類だけ。遊ぶスペースを決めるなどして、目が行き届き安全を確保できるよう工夫している。 トイレと水道がーつしかない為、子どもたちも並んで待つ
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	トイレが狭いため、使用時には注意が必要 物を置かない・整理整頓を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	67%	33%	物を置く場所がなく、工夫が必要 小部屋で学習スペースはあるが、午睡部屋が機能していないと感じる為、改善が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	対面で研修機会があるといいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	83%	17%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	必要な情報や支援についてはその都度のアナウンスになり、打ち合わせ時間を改めて設けることはしていないし、しかし、情報が共有できるような工夫はしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	必ずではないが、必要に応じて共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に関げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド091袖ヶ浦店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	一人一人と向き合う時間も必要であると思う。そのため、人数の配置など工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	子供用トイレではないため、使い方に工夫が必要。 今日の流れを絵カードで提示できると良いと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日室内清掃と外掃除をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	88%	13%	朝礼上少礼を行っている。 参加はしているが実行するのが難しいこともあり、工夫が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	児発管が情報を握っており、他スタッフへのフィードバックの仕方に工夫が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	児発管が持つ情報のフィードバックの仕方に工夫が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	おおまかな発達に対しての研修だけではなく、具体的な支援方法など学ぶ機会の検討は必要 外部の研修を受けるなど職員の意識向上に繋げればいいと思う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	88%	13%	全スタッフが五領域に分かれ、話し合い目標を設定している。 アセスメント、モニタリングの期間を作る工夫は必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員が全知がない場合もあるため、工夫が必要 個別支援計画の立案の仕方など工夫が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	88%	13%	時間がなく、十分把握ができていないこともあるため、改善が必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各ら欄及び全領内容も踏まえながら、こどもら支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	五領域に分かれ、それぞれのスタッフが分担して考えている。 チームで連携していく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	話し合いの質を高めていく必要がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一回行っているが期間の振り分が難くなるよう工夫が必要
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	現場のスタッフが児発管にしっかりと話を聞くなどの工夫が必要
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	いつでも開かれている
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	児発管が積極的に行っている
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	児発管が積極的に行っているが、現場のスタッフへの共有の仕方に工夫が必要
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に話をしている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	個別支援計画に記載されている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	一方的な助言にならることのないよう、工夫していく必要がある
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	63%	38%	ブログがなくなり、保護者への周知が減っている部分もあるため工夫が必要
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	福祉処理はスタッフ全員ができるようにはしている
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	親からの申告によって対応 重篤な症量は来ていないが、アレルギー対応の児童は別テーブルで食べるなどを行っている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	63%	38%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド092小鹿店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	40%	60%	身体を動かせるスペースと落ち着いて話ジスペースをわけている。現在利でしまっていますが、パーテーションを使用するなどの改善は必要。 お昼寝前後が人数の割に狭く、また、活動部屋の半分程が昼寝部屋に割れてしまうこともあるため、使い方に工夫が必要。 事務所や倉庫のスペースが足りずスタッフの休憩スペースも十分にない状況のため、工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20%	80%	お昼の送迎、預りの送迎の回し方など、限られた人数での工夫が必要。 特性の強い子どもには、スタッフがマンツーマンでつかないとならないので、そのような時には人手が足りないと思うことがある。また、事務的な仕事が多く、子どもに関われない時間がある。交代で事務仕事をしたり、昼休みを返上して行うなどの工夫は必要。 発達は手のかかる年齢で、癇癪療育がはかれない子供などもあり複雑の必要だと感じることもある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	床に凹凸があり、こどもによっては転ぶ可能性もあるため、工夫が必要。 イラストなどを使い見て分かるようになっている。 幼年組の子供達の遊び場であるにも関わらずコンクリート床の上にクロアーシートを貼っただけの構造で転倒した時などの安全面もふまえ工夫が必要。また、交通繁多な道りに直した出入口であり、外に出る時にも配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	60%	40%	天間のとびらが構造上、水漏れなどが起こりやすい為、改善が必要だと感じる。 活動にあわせて部屋の配置を変えている 掲示を徹底している。 お昼寝部屋へ座が暑さやすいため、工夫が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	80%	20%	必ずスタッフが見守れる位置にいるような配置を行っている。 スタッフが個別療育を行う時は、ホワイトボードに名前を書き、周囲に行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	意見を聞き、改善に向けて思案している 月ごとの目標と評価を共有している他、できることでできないことを表にして、分かりやすくまとめたものも共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	こちらでの様子を写真も交えてお伝えしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	中々ゆっくりと話せず改善したい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ニーズに沿いながら、スタッフの意見をとりいれ作成している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	1人1人意見を聞いている スタッフ間で、話し合いを密にしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	専門支援実施にも関連付けている 話し合いの後、作成された支援のポイントがファイリングされているので、いつでも閲覧可能になっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの枠組みを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	幼稚園との連携を大切にしている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	準備をもう少し皆で分担していきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	偏りがないように様々な活動をとりいれておく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個々でとりくんだことが集団でいかされ自信につながるようにこころがけている
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	朝は全員朝わないので、昼の日の帰りに行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	皆りに情報共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	写真や動画を撮って、共有もしている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	利用しているこどものことで関わりはあるが、それ以上の関わりがないため、工夫は必要
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド093勿来店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	見通しがつきやすい環境設定（仕切り等）が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	83%	17%	仕切りを用いるなど工夫は必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	朝にスタッフが集まり、情報を共有することが工夫されてます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	翌日に集合して話しています。共有事項はその日のうちに職員間で共有をされてると思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83%	17%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド095新東大宮店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	支援室の広さはどどもたちに日が行き届く広さであるが、狭くはなく適度な広さになっている。
	2	利用児員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	法的に以問題ないと思うが、職員の能力差、利用者の特性が違うため子ども達の安全を守るのに難しいと感じる日もあります。 その日の利用人数に合わせて支援されている。 子供の人数だけでなく、マンツーマン対応の場合は職員不足だと感じることもあり工夫が必要 ないと答えましたが、発達、特性を考慮するとスタッフ人数が足りてない日もある気がします 利用児童の特性や、個性等を考慮し、多少の調整は必要だと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に なされているか。	80%	20%	清潔感もあり、空間も広いのでとても過ごしやすいです。一方、冒険、子ども達が過ごすデイルームからトイレや洗い場が遠いので、トイレ介助などでスタッフが手をとられると現場でが手薄になる事もあり、工夫が必要。 各室の新はり歩戸の方が安全だと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清潔に保つための清掃を適宜行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	90%	10%	個別支援室、午睡室が別に確保されている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	一部の職員に偏りがちになるため、工夫は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	常に新しい情報を共有している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	管理者は非常勤の考えにも耳を傾けてくれて都度問題を改善しようとしています。 職員会議を定期に開催している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	毎月の勉強研修はとても勉強になりますが、それ以外の研修があったら嬉しいです。 毎月の研修を動画で実施していること。 動画研修のみでは、身にならない事も多いと思うため、スタッフ間での検討も必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	常々に公表していただいているのは良い
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	90%	10%	支援計画書を早期に共有してある 中身に少し物足りなさを感じることもあるため、改善が必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	ミーティングを開催している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	素早く支援計画書を共有していただいている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	90%	10%	気づいたことを共有する連絡体制にある
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	それぞれがわかりやすく表記されているので良いと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	月間スケジュールとなっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	事業所ができて４年目になりましたが、スタッフひとりひとりがかなり工夫していると思います。 早目に月間の予定で作成されているので、見通しが立つ
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	各々の子どもに合致したものとなっている
	20	支援開始前には関係機関で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	30%	シフトがバラバラなため、ラインでのやり取りになりますがラインだけでは意思疎通が難しいと感じることもある。最低限ラインで共有してはいます。 グループLINEで共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	気付いたことを、終了後でなく、支援に支障のない時に適宜LINEで周知している。 支援の振り返りの時間をもう少し確保する必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	グループLINEで記録を共有している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	見直し後に素早く共有していただいている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	管理者が参加していることがほとんどのようですが、ほかの職員も管理者と参加しても目線が変わり違った見方ができるのかと思う時もあります。ただ、管理者はみんなの意見を聞きてまとめて会議に参加してくれているので雪積はあります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	4年目ですうやくという感じはありますが、これからどんどん連携を強めていけたらと思います。
	26	幼児期から学校教育への移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい者の部で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	必要に応じて、透園する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	70%	30%	幼児する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご家望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	60%	40%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	30%	70%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	共通理解はされていると感じますが、まだまだ、必要かなと感じています。 HUGによる連絡はある
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	発達特性のあるお子さんを持つご家族に対する支援は重要な事と考えます。現状、保護者の方への積極的な情報提供はされてないと思いますが今後何かあればと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、助言や必要な助言と支援を行っているか。	90%	10%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の妥当窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	90%	10%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10%	90%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、良さを想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	十分ではないが、という感じです。子ども達を預かっているのでもっと働きを設けて研修、訓練が行われてたら良いと感じます。 十分とうかは悩ましいがしている
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ライン上での書き込みを行っている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	80%	20%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド096七北田店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	子どもの実態や特性に合った環境を準備する必要があると思います 工夫していると思う点は日が行き届きやすい、収容が必要だと思われる点は十分に身体を動かせる広さではないため、工夫は必要
	2	利用定員や子どもの知覚等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	配置や人数を考慮して調整されているが、休み希望などの都合で人手不足となり得る時期等や日が あるかもしれず、検討が必要 利用の受け入れを優先する中で、配慮が必要な利用児童が多い場合には、療育内容よりも安全面を優先した支援となることがあるため、利用児童の人数だけでなく、一人ひとりの状態や配慮の必要度に応じた職員配置が必要だと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	工夫している点は分かりやすく見える化されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	工夫している点は毎日の丁寧な掃除と消毒、整理整頓など
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	工夫している点は子どもたちが動きやすく集中できるように使用している
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	75%	25%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	75%	25%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の各ら ゆる支援内容も踏まえながら、こどもら支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	75%	25%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化に対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	75%	25%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を図ること訓練を実施しているか。	75%	25%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってお ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	75%	25%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	事例集ではありませんが、低経なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド097高柳店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	仕切りを使用し、落ち着いて活動ができる様に工夫している 空間をパーテーションで区切り、活動に応じて分けられるようにしている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	声を掛け合いスタッフ間で協力している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	支援スペースがないため、髪を洗いて手を洗いに行く導線が分かりにくく、工夫は必要 天井に設置されたエアコンの音が響いてより、相談がなると危険な為、早急な改善が必要 パーテーションを使用して空間を分けるようにしていますが、パネルを貼り合わせて作成していることもあり、強度などには難点もあるため使用時の配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	掃除もこまめに行っている エアコンのカバーが外れた状態のままテープで補強をしており、かなりの月日が経過している。使用の際の安全面への配慮が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	落ち着いて個別療育ができる様、毎日振り返りで周知している 間仕切の部屋を使用する際は、声掛けを行い、誰が入っているか把握できるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日振り返りがあり、アドバイスをもらいスの活動や対応に生かしている 昨日毎日振り返りを行い、子どもたちの様子や状況を共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	全スタッフに必ず周知される様にしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	管理者が相談しやすい様に、雰囲気を良くしてくれている。 職員の意見は出語りだけでなく、会社全体で把握、検討していくべきだと思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	外部の方の意見を分かりやすく説明してくれる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	会議や研修を定期的に行っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	保護者に知らせる内容を周知してくれる
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	目に付くところに、保護者の主訴が分かりやすく掲示してある
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	会議や振り返りで、様々な場面の子どもの様子を伝え合っている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	会議や振り返りで話し合っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各ねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	全スタッフにすぐに周知されている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	活動内容の振り返りや話し合いを毎日している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動カレンダーを作っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別をした記録やグラフを用いている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼で、詳細に周知している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日決まった時刻制に行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	会議録をつけている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリング内容を確認、周知している
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	個別担当を決めてより深く子どもを理解できるようにしている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	保護者とのコミュニケーションを大切にして、情報を受け取る様にしている
	26	幼稚園教諭や保育士に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	主に管理者が行い、皆に周知している
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学前相談等、丁寧に対応している
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	71%	29%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	散歩先の公園で遊ぶ事がある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	丁寧に様子を伝え合っている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	定期的に実施をしている HUBを通してのコミュニケーションやがしっかり取れていると思う。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さまお負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	分かりやすい形に置いている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	面談で確認している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	口頭で説明し、書式にサインをもらっている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者とのコミュニケーションを大切にしている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	71%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	すぐに全スタッフに周知している
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	写真やメッセージを送り、安心してもらえる様にしている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付きの場所に保管している
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	文字と口頭、両方でお知らせしている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	奥ゆかな拡張をもお持ている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎月の防災訓練の様子等、知らせている
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	定期的に避難訓練をしている
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	服用の時間等、全スタッフに周知されている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	活動内容により、注意している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全点検等している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎日の振り返りで、話し合い改善点は、迅速に改善している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	管理者が個別にも指導し、全スタッフに注意喚起している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド099大泉店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	95%	5%	おもちゃで遊ぶスペースと走って遊ぶスペースを分けている。 部屋を療育の目的別に分けて使用することができている。 複数の部屋を設い、少人数制で支援を行えている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	常勤(作業動も)を増やしたカが子どもが安全に過ごせると思います 子どもの状態によっては、職員の手が足りなくて、支援が難しいと思うことがあるため、工夫が必要 空き1女ディで必要体制ができている 応速が多いため、待機職員が少なくなり工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	95%	5%	フロアマットでエリアを分けて遊ばせている 広間だけではなく個室が学にある 不要なものは置かない、絵カードを使ったり子どもでも分かりやすい環境作りができている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	網膜がけき届いている 定期的に清掃業務や簡単な清掃を心がけている
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	95%	5%	子どもが利用しやすいように物を置かないように気を付けている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	全体LINEで共有している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	95%	5%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	81%	19%	全体LINEで共有している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	95%	5%	定期的に研修が開催されている 月1で研修を受講している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	95%	5%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	95%	5%	自分は作成していないが他の職員は分析した上で作っている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	全体に周知されている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	76%	24%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの観点を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらを、具体的な支援内容が設定されているか。	95%	5%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	95%	5%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	95%	5%	いくつかの内容を順番に繰り返している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	自分は作成していないが他の職員は作っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	95%	5%	開始前のミーティングで話している レクリエーション内容をホワイトボードに書き出して確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	95%	5%	全体連絡で周知している 全体LINEで共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	その日の気になった点を全体に周知されている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	95%	5%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	95%	5%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	95%	5%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に関げてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	(センターではないため回答なし)		
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	90%	10%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご出場のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	81%	19%	ハグ等で保護者に骨報共有をしている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	95%	5%	視覚的に分かりやすいように、できるだけ分かりやすい言葉で伝えるようにしている。 視覚的支援をしたり、できるだけ分かりやすい言葉を使うようにしている。 色々なコミュニケーション方法を用意している
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	57%	43%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身生を想定した訓練を実施しているか。	95%	5%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	全体連絡で周知されている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	95%	5%	全体連絡で周知されている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	95%	5%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	95%	5%	適宜説明をしている
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	書いてファイルに保管して職員が見られるようにしている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修を開催している
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド100市川大野店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92%	8%	おもちゃやハンドタオルなど雑貨の備品を収納する場所(子どもの手の届かない場所で)がもう少しあればとおもいますが、現状できる限りのことはされているとおもいます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85%	15%	これ以上増やせないと言われているらしいが、日によっては特別な支援が必要な児童も多く、職員の数が増えると良いと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	子どもの特性に合わせて、絵カード、写真、椅子の踏み台を使用し活動している 絵カードや写真など使って提示してあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	一人になりたいとき、みんなから少し距離をおきたいとき過ごせる場所は確保されています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	個別面談を実施している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	69%	31%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	担当者会議を実施している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画、アセスメント等個別記録をいつでもスタッフが閲覧できるようにしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	92%	8%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	92%	8%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	77%	23%	翌日の支援開始前に行なっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	連絡ノートを活用している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92%	8%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92%	8%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	(センターではないため回答なし)		
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	92%	8%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	46%	54%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ノートに送迎時の連絡事項や保護者からの伝達を確認しあっている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	62%	38%	ご家族とは、半年に一回面談を実施している。家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の視点に立った家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行う必要があると考えている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	92%	8%	契約時に説明を行っているが、保護者様に伝わりやすい説明が必要だと感じている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	92%	8%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23%	77%	個々の保護者とは、半年に一回の面談を実施している。 兄弟での利用はあり、一緒に参加されていますが、父母会は無いです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関等口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	69%	31%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	23%	77%	特に、交流を持っているわけではないが、外で活動するときなど、あいさつするようにしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を図ること訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってあります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	最近の地震、大雨の災害が多発している。想像を超える災害である。安全対策を取るなければいけない
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてあります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってあります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	92%	8%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド101前橋大利根店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	利用定数に対して広さが十分にあるので工夫して様々な活動を行っている 定数に対して設備が狭いと感じることがあり、工夫が必要 子どもが好きな玩具を自身で自由に取り出せないこともあり、改善が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	応答を効率良く図れているので、職員の人数がしっかり確保されている 人員が多すぎる時間帯があり、また、トイレ介助など固定化している時もあるため、改善が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が講じなされているか。	100%	0%	背段遠ざ認識、レクを行う認識、個別認識、午睡認識等しっかり分けられ、構造化した環境になっている為子どもたちも理解し、混遠しをもって次の行動に移り遠ざせている。又、環境上の配遠も適切になされている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日掃除、整理整頓を行い、常に清潔を保っている。
	5	必要に応じて、子どもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	83%	17%	使用後は速やかに片付けを行っている 部屋数が少ないため、使い方の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	75%	25%	会議で職務を共有し、ホウレンソウをしっかり行う中で、支援の方向性の見極めや改善点等あればその都度話し合いを行い、すすめている SVIより法律に入った為、今後参画したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	保護者の意向を踏まえた上で個別支援計画を作成し、個々の様子を見ながら支援を行なっている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	紙りになる管理者を筆頭に、様々な専門職がいるので、常に相談しながら利用者にとって最善の支援ができるよう工夫している 個時気が付いた事を言える環境である
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの遠応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	92%	8%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	92%	8%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	非常勤なので必ずではないができる限り行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等首況適所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば情報的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	42%	58%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	92%	8%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8%	92%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	92%	8%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってあり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	92%	8%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってあります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	92%	8%	事例集ではありませんが、低経なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	92%	8%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってあります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド102せんげん台店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	85%	15%	子どもの目線に立って動いている 遊戯スペースが広く、のびのびと遊べる。 個別の部屋や午睡の部屋など用途に合わせて使える。改善点はアスレチックの型間をうまく使いきれていない。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	62%	38%	昨今は問題ないが、職員の休憩回しなどで職員が足りなくなる時間があるため、工夫が必要 職員の休憩がしっかり取れることはありがたいが、足れてはいても支援ができない人数配置の時が多々あるため工夫が必要 15人に対し2人ではついる時間帯などもあるため改善が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	発達類組もふがけ、子どもたちの意識が別のところに散らないようになっている 電気のスイッチが子どもら届いてしまうため、使う目下・つけるなどの行為に製がついる。電気も1部屋で半分はつけるなどは出来ると使いやすい。窓が少なく換気がしづらい。情報伝達がしれにが基本で、コミュニケーションが希薄化しやすく、会議の時間もあまり持てないため改善が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	92%	8%	常に掃除を行っている 机の配置を活動ごとに変え、子どもたちが落ち着いて過ごせるようにしている 清掃の仕方が人によって様々。日々使っているものの段階など出来ていない。 毎日掃除をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	興奮が起きた時は子どもを移動させている クールダウン時や午睡時、個別など場合によっては使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	77%	23%	目標設定や振り返りの時間をあまりとれていないため、改善は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	15%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	昼休みが被ねり、今月より職員会議が開けそうなので意見交換の時間を設けたい 毎日掲げている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	69%	31%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	92%	8%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	92%	8%	レクカレンダーがあることで色々なら活動に繋がるのはいいことだと感じる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	92%	8%	現状では最低限のアセスメントのみで、作成されているため個別支援計画ではなく、みんな共通の目標のようになっている。個別支援計画をたてる前段階にもアセスメントをとれる体勢づくりやスモールステップで取り組めることが望ましい。そのためには職員のスキルアップもなければ実現は難しいと感じている。そこに気遣できるように工夫しようと考えている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	92%	8%	モニタリングを行い現状共有して、考えている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	92%	8%	共有はされているが、日々の支援として は個別支援計画を意識して、支援に入れている職員は少ないと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	77%	23%	アセスメントは入社時だけになっており、その後は職員へのモニタリングで補足している状況。今後はツールを活用し、個別支援計画作成のただにアセスメントをすべきだと感じている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の ねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	85%	15%	五領域に基づいてしてられている。ブラッシュアップは必要だと思うので、業務に慣れてきたら再確認したい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92%	8%	全員で振り分けて行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レクカレンダーを使用している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別は行われているが、中身が期相されていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	77%	23%	全てLINE共有で希望仕している。支援者が送迎に出ることがあるので全員聞いにくいがやるべきだとおもう。 時間が無くあまり行われていないため、改善が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	69%	31%	雑談のような感じで共有はあるが打ち合わせの時間は十分に取られていないため、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	hugでの保護者へむけたメッセージと専門支援以外記録は行われている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度は行われている。モニタリング前のアセスメント自体のツールがないので検討が必要
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	92%	8%	管理者が出席する場合、現場職員に状況を聞き取りしてから出席している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	77%	23%	必要であれば行う。 地域との連携をもっとすべきなので改善が必要
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	77%	23%	現段階では出来ていない。他職間との連携もできるよう保護者のニーズも確認していきたい。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85%	15%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	62%	38%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	46%	54%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	HUGにて共有している
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	69%	31%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま見形等について丁寧な説明を行っているか。	92%	8%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	92%	8%	現状、アンケートのみでの対応になってしまっているため、面談、電話、アンケートと選択できるよう努めていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	書面またはデジタルサインで同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	92%	8%	適宜行っている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	62%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	92%	8%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	69%	31%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	92%	8%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	54%	46%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85%	15%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	69%	31%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	92%	8%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	92%	8%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	85%	15%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	77%	23%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	92%	8%	日々の共有はLINEのみなので、改善は必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92%	8%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	92%	8%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド103新上大久保店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	75%	25%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	就行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititle児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	50%	50%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	75%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	50%	50%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	50%	50%	社用携帯を用意する必要がある。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	75%	25%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	75%	25%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド104与野店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	64%	36%	室内遊びのスペースが狭いと思うこともあり、工夫が必要 全体的に狭いと感じることはあり、使い方の工夫は必要。ドアの鍵等も改善が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	36%	64%	現在はスタッフが足りていないと感じることもあり、工夫が必要 同施行数を超えて児童が利用する場合と利用しない場合の人員数についてバランスを取る工夫は必要だと思う
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	55%	45%	玄関のカギが下の辺りにあり、子どもが自分で開けられることに対しての改善は必要 未使用の机や椅子がメインフロアに置かれているのは混用的に個利だが安全面から考えると置き場所を検討する必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	73%	27%	発生頻度の職員処置が大きいため、全体での意識を高める必要がある 壁紙の剥れもあるため、改善が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	91%	9%	店舗として決め事が厳い、ルールを決める必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	64%	36%	店舗として現状期末に予算を含む期末報告、方針発表等の仕組みは必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	64%	36%	管理者による保護者との意見のアセスメントの結果と指示は職員にLINE とロ頭で直接聞きて来ている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	時間と児童対応の制約があると思うが常勤とパートさん全体での意見交換の場を設ける必要がある。現在は常勤者とパートさんで分けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	36%	64%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	55%	45%	管理者向け教育コンテンツを不定期に配布されレポートを提出している。店舗と言うよりも会社として受講可能な研修メニューを提供して欲しい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	82%	18%	支援プログラムはキッセピネットに保管され、いつでも閲覧出来る
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	82%	18%	計画書自体は真一的で個々の特性や対応方法を読み取るのが難しい。計画書を見とすれば個々の児童に対する対応方法などを書式を決めて文章化が必要。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	36%	64%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	82%	18%	計画に沿った支援がされているか　個々の児童別の振り返りの機会を定期的に持つ必要がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64%	36%	LINEで情報を流してくれている分は確認できているが、すべての情報を全職員間で共有していないため、改善が必要 どの様なツールマネジメントが行われているか説明する機会を設ける事も必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	82%	18%	計画書の書式に沿って記入されている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	45%	55%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	91%	9%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	73%	27%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	45%	55%	管理者から指示は降りるがスタッフ間での役割分担等の打ち合わせは行われていない。手順書等ルール化してPDCAを明確化が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	起きたことをLINEで共有するようにしている その日の業務に追われて確認レベルで留す程度。ただしこれを文書化する事は負担に繋がる恐れがあるので何らかの検討は必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	55%	45%	グループLINEへの報告はあるものの、確認はしていない HUGの報告書は記入者によりバラツキがあるので職種を絞めるならある程度書式や記入方法のフォーマット化が必須。ただし前提として作成の負荷軽減が必須
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	45%	55%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	64%	36%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に関げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等首児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	45%	55%	同様があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば情報的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	18%	82%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	91%	9%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	36%	64%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	82%	18%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	91%	9%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	82%	18%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	45%	55%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	9%	各事業所の苦情窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	45%	55%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27%	73%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	45%	55%	訓練計画書が明確にされていないので周示が必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	36%	64%	訓練計画を策定してPDCAを回す必要がある
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	82%	18%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	55%	45%	計画書　訓練対象者や責任者　担当者　日時等文書として運用する事が必要
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	64%	36%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	91%	9%	ヒヤリハット共有LINEはあるが、すべてを共有できていない。予算などもあり、設備の改善も不十分な部分があるため、工夫が必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	本件も含んだ必要とされるルール、職員初の教育計画が必要と思う
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	73%	27%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド106いわき平店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	常に子に応じた支援をしている 個別療育室にクーラーがないので、夏は暑くて入れない日は工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	トイレが内開きなので、狭く使用時の工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	定期的な清掃、消毒など行っている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	89%	11%	個室はあるがクーラーがないため、使用の際の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	引き継ぎ記録ノートの使用
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	78%	22%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	職員からアイディアを募っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	78%	22%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22%	78%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってなり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってなります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってなります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有してなります。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めてなります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってなります。また、計画書にも反映してなります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド108浦和中尾店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	職員が増えればなおいい
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ら以び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等事児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド109大田原店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	見学時の第一印象として広いスペースで活動ができるという印象を持っていただけている。 半分曇りガラス、半分ガラスで明るく、暖くて寒く、適度感の高ロールカーテン等つける工夫は必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	プレイルームでの活動時など安全確保のためにマンツーマンで見る必要がある児童も居るため、人員が足りないと感じる場面では工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	わかりやすく見える化されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	89%	11%	個別療育に適した個室の部屋が無い。(医と物置や会議に使用されている。照明やエアコンが弱かったり改善が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	目標について全体での共有はされているが、もう少し密に支援の仕方や目標設定振り返りをする必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	パート・アルバイトの場合、出勤によっては参加できないことがあるため工夫が必要
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	専用のLINEで共有している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	89%	11%	職員によって、支援方法が異なることがあるため改善が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	専用のLINEで共有したものを見たら、リアクションで確認したことを共有している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	毎日ではないので徹底していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	必要な時に行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	連絡を取り合い、共通理解を図るようにしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	78%	22%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78%	22%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	災害時の対応などは改善が必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	専のLINEで共有している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド110我孫子店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	お手洗いが1つ足れないため、使用があまりできずその分携帯後の待ち時間が長くなってしまう。使い方の工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91%	9%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	目標設定が通り一辺倒の所があり、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	82%	18%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	もう少しミーティング等ができる時間があれば良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	82%	18%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	82%	18%	定期的に行われているので、勉強になる。 勉強したい事もあるがなかなか時間が取れないところは改善が必要
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	利用児によって共通理解が足りていない時もあるため、工夫が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	91%	9%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	73%	27%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	担当がしっかりと組み立てている。PDCAがしっかりとなされている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には関係職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	64%	36%	なかなか全体で打ち合わせはできていないのが現状のため、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	流石に出るスタッフがおずいるため現実的ではない。しかし、改善は必要 ひとつの時間としてではなく退勤や片付けをしながら共有など実施されている状態
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	91%	9%	記録に残すことはなく足りていないと思われるため、改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	91%	9%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	73%	27%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	先日、保護者の方から、子どもが色々なことをやっている事に感激していました。家庭での様子を聞く事で、課題を積極的に支援している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	82%	18%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	73%	27%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91%	9%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者様へ英語でしか連絡しない時は、職員も英語を使って努力している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	73%	27%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	91%	9%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	その都度、声を出して同じ事の切り返しがないように努力している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	91%	9%	機会はないがその都度担のスタッフが間に入るなどして力任せ・暴言など起こる前に交代できている状態
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド111富士松岡店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40%	60%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってあり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってあります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってあります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、軽傷などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってあります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド112佐野店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	63%	38%	職員が壁と認識してくれ、駆込みやすい環境にしている 適切ではあるが人数が多い場合成ったりする立度のいると危険だなと感じることもあるため、工夫は必要 人数の多い日は事故に繋がるため配置の見直しも必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	やや足りないと感じることがある 児童と放デイの人数が4:1だと人手が足りないと感じる 個別対応の際、手薄になるため工夫は必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	各部屋の壁によっていい部屋ダメな部屋など分かりやすくシールが貼られている 児童用に小さいイス、テーブルがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	夏、エアコンの効きが悪く暑い。利用者の人数によって狭いと感じることがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	定期的に職員会議を行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修に参加している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	見ることが出来る
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	行ってもらっている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの枠組みを踏まえながら、こどもや支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	放デイと共に考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	様々な活動プログラムが取り込まれている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	両方取り入れている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	毎日はできていないが工夫は必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	行ってもらっている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	参加してくださっている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	63%	38%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご以降のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	注意しながら取り扱っている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88%	13%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	放デイと関係に服薬する児童の時間と量を共有している
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	13%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	88%	13%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	13%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修に参加している
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測実を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド115筑西店PLUS(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	曜日によってお昼寝スペースが足りない時があるが詰める等してスペースを確保できている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	マンツーマン対応が必要な場合には交代で当たっている
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	こどもにとって動線がわかりやすい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	夏期が行き渡ることると行き届かないところの差が酷い。１日を通してメインで過ごす部屋にエアコンの風がほとんど来ないため暑い。廊風機の風では子ども達が熱中症にならない十分配なところがあったため、改善は必要 昼食休はテーブルの上だけでなく下も食べこぼし等に注意して拭き掃除している。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者からの伝達、問い合わせ等は、即座に職員全員がラインで共有できている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	労働と非労働の立場での違いもあるため、工夫も必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援」地域連携、のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	90%	10%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	70%	30%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	70%	30%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	90%	10%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド117八千代高津店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	面積があり、メインフロアも広め 小部屋とフロアーを上手に使い分けていると思う。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	時々職員が足りないと思うことがある。臨機応変に管理者が出らフォローしてくれるのでなんとかなっているが工夫が必要だと感じることがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	大きなフロアーが一つだが、上手く使い分けて使っていると思う。 柱が危ないのでクッション剤などで保護するとより安心できるため、工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	その時々の清掃と清潔が行き届いていると思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	認識がもう少し広いといいと思うことがある。大きなフロアーを仕切るのではなく、広い面積があるといいと思った。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	短時間のパートであっても、改善や工夫を取り上げてくれている。職員みんなで工夫改善を進めて日々進化する姿が見られる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	面談の他にも、日々の声を聞いて業務改善に努めていると思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るようにに努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の ねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド118ひたちなか店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	ロッカー個の配置をその都度変えている。 人数による手狭だと思うが、体格の良もあり、狭く感じてしまうこともある。改善は必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	祝日等で子どもの人数に対して職員の人数が少ない日があるため、工夫が必要。 子供の状態に対しての職員配置が不適切な日があるため、改善は必要 多機能なので、職員配置にスタッフの行き来がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	事務所から様子が分かるように、ベビーゲートを設置している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	子どもたちが楽しめる空間になるよう、視覚からも分かるやうに壁面等工夫している。 季節感のある装飾を工夫している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	行ってはいるが、一部の職員でのみで行っているため、工夫は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	保護者からの意向等は口頭で聞くことが多い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	話しやすい環境づくりに努めている 会議等で意向を聞き、業務改善に繋げている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	個別連絡が取れるように、ラインを活用している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	共有されているが、パート等で確認方法が分からない職員もいるため、工夫が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ら4つ及び全領内容も踏まえながら、こどもら支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼などで打ち合わせを行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	各区必ず行っているわけではないため、工夫は必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	83%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ラインを活用
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	保護者等に対する家族支援は行っていないが、必要に応じて検討する
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	南光の確認は、利用開始時にのみ行っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83%	17%	定期的ではなく、保護者からの面談の要望があれば行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	保護者会やきょうだい間での交流の支援は余く行っていないため、工夫は必要
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の窓情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように努えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ラインを活用
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	出しっぱないし厳禁にしている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	駐車場スペースを、地域の行事に貸し出ししている 地域住民との関わりは、地域事業への参加のみ行っている
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	アレルギー対応は行っているが、医師の指示書は出してもらうことは無いため、必要に応じて検討
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	83%	17%	家族等に周知していないため、検討必要
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低級なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の要理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	33%	身体拘束について、児童発達支援計画に記載しておらず、説明と同意がされていない保護者もいるため、改善が必要。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド119新潟青山店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	スタッフが日によっては少なく、大変な時があるため、改善が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	83%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	今後交流の場を設けていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続けてお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向をご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	今後交流の場を設けていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後交流の場を設けていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	83%	17%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド123作新台店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	基本的に広過ぎだと思いますが、夏休み期間などの午前中から利用者さんが多い時はアートのお部屋は狭く感じます。 利用人数にもよるが、定員に近い様小部屋は狭く、安全への配慮や注意ポよりお更大と感じる事がある。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	91%	9%	送迎が重なると保育が手薄になってしまう場面もあるが、今いる職員で連携して安全に過ごせるようにしている。保育の質を担保するならもう少し人がいることー人一人の子どもともっと じっくり関わることができ、保育の質の向上にも繋がる。 常に管理者が見を思い、人員配置をら様けてくれている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	コンセントの位置が活動範囲で気になる場所にある為、様々な対策はしているものの、高い所に設置出来たら良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	すりガラスなどでプライバシーに配慮しながらも彩光は取れており、明るい。構造上、換気が取られた時間しか出来ないので、改善できたら嬉しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	改善の提案をした際に、次回の会議に議題で出していただけました。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	動画研修を毎月受けさせて頂いてありがたい。更に外部研修なども出来たらより支援の幅が広がると思うので、あったら嬉しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	一人一人の目標を把握して個別支援をしていけたらと思う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児発管・管理者の方が積極的にコミュニケーションを取ってくださり、こどもの為のディスカッションが行われている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	非常勤に伝わりきれていない現状があるため情報共有が必要 スタッフ会議が個別支援計画の内容を把握し、支援にばらつきがないようできたらいいと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	91%	9%	チームと言えるかは分からないが、専門職スタッフを中心に案を出し合って取り組んでいる。一部だけの負担にならないよう、協力していけたらと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	カレンダーを作るのであれば毎月あった方がよい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	専門スタッフが中心となり、指示出しや連携をして共有してくださっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	以前は全体での打ち合わせだったが、送迎内容や出勤時間のバラツキに伴い現在は個々に声掛け共有がなされている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	毎日は取り組めていないため、工夫は必要 毎日の全体での打ち合わせはないが、好事例などを書く事で当然とスタッフ間での支援の振り返りの場となっている。常勤さんは会議を行っているので、会議ノートで分からない事などは都度話を伺っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	73%	27%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	55%	45%	外部との連携をもっと密めていきたい もっと密な連携を図っても良いと思う。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	保育園や幼稚園、認定こども園の担当の先生との話し合いができたらよいと思う 園や列四者が揃っている転事業所との調整を図る機会を密に取った方が良いと思う。 先生方が見学にいらしたり、スタッフが訪問して連携を図っており、送迎時にも本日の様子を共有していただいたりするので大変に活かされていると思う
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	45%	55%	小学校への直接共有は詳しく担当できておりませんが、保育園などと話を共有している様子があり、就学に向けての支援に繋げている場面はある。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等声掛児発支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	27%	73%	相談があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	9%	91%	難しい面もあるかもしれないが、地域交流の場があったらいいなと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	できれば、全施療育センターでの検査を受けて共有して欲しい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	45%	55%	モニタリング等で先方からの要望があれば提案や紹介できるようだが、こちらから主体的に負担していいのか難しい面もある様子。不安や困難を抱えている家庭はもちろん、情報が少ない中えに気付まに繋がらない面もあると思うので、寄り添っていけたら支援の幅が広がっていると思う。事業所に詳細に来てくださったらご家族も安心しやすいのかなと思う。
非常時等の対応	35	運営規程、支援プログラム、お子さま及び家族等について了承な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご以降のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9%	91%	機会を持見したことはありませんが、モニタリングや送迎時に抽参など交流が行われているなど思める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	73%	27%	日々のブログは書くなりましたが、管理者の方が行ってくださっているようです。 以前はアメブロをしていたが閉止になったため、伝え方のエ夫は必要
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9%	91%	行事ではないが、地域の事業所の方から使わなくなった玩具を提供頂いたことはあります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	定期的に注意喚起を行ったり、鍋点チェックをしたり、レク内で訓練をしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	避難訓練の練習はしている
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	予防接種などは確認済みなのか存じ上げませんが、支援の際に注意すべき状況があれば共有がなされている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91%	9%	現行書出すご家庭今の所なし 指示書などうかは存じ上げませんが、入所時の内容は全て非常勤にも共有され、おやつなど口に見える形で注意喚起はなされている。重度のアレルギーがある子が入所する場合にはもっと細かく取り組む必要はあると思う。 おやつ等限定もない様に、得入りは購入を退けている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットの記入をする事により、意識的に行動できている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修動画を観れて良い
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果　公表

事業所名	グローバルキッズメソッド127園生町店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	床の素材が固い為、ジョイントマットやクッションフロアなどの工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20%	80%	多動、衝動の子が重なると危険なので人員足りないため、工夫が必要 人員不足の際は、まずはその活動の立場スタッフに登務可能か聞いてから、ヘルプを依頼するなどの工夫は必要
	3	生活空間は、どこもわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	棚の位置等、そもそも子どもが触れられないよう工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	80%	20%	個別療育する部屋があるのはありがたい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20%	80%	話し合いをする時間を持てている時といない時がある。定期的に時間を作るなどの必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40%	60%	ある程度まとめてでも、保護者の意向を共有する時間を作るなどの改善は必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40%	60%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20%	80%	専門職以外も学べる場がもっと欲しい。 資質の向上につながる、研修を希望
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	80%	20%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	80%	20%	実際に接しているスタッフも含め話し合った上での作成などの工夫は必要
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	60%	40%	子どもの最善を考慮するためにスタッフまじえての話し合いなどの検討は必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	40%	60%	共有し、皆で同じ方向に向かっての支援が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	60%	40%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	40%	60%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	個人の立案をもとにスタッフ間で話しあっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	日頃わりにこだわらず、基礎的なことを継続して育む方法も必要であると感じる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	年齢や特性の差により、全員一緒の一斉活動は厳しなケースもあり。各部屋で、2グループに分けるなどの方法も検討する必要がある
	20	支援開始前には関係者で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	40%	60%	わずかでも打ち合わせ時間がほしい。あらゆることが全て個人裁量で、ルールになっていないところも多り、改善が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0%	100%	出来ている時といない時とある。関礼や終礼があると良いと思う 打ち合わせ時間もないので、振り返る時間等、検討する必要がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	記録をとることで統一杯で、共有や改善まで至っておらず、改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	20%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	60%	40%	詳しいスタッフの参加を促せるよう、工夫が必要
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	詳しいスタッフが関係制度との支援にも参加している
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40%	60%	スタッフにも知識が足りず、まだまだ工夫が必要
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	100%	図りはじめたところ。スタッフにも知識が足りず、まだまだ不十分と思われるため、工夫が必要
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	20%	80%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	皆今伝えるために、保護者への文書配布などを検討が必要
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さまお負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%	丁寧な説明を伝えるためにも、保護者への文書配布など検討が必要
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	80%	20%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	80%	20%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してはは随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	個別対応となるため、スタッフの人手不足や時間を考慮し、同じような内容については一斉連絡できるよう、保護者への文書配布なども検討が必要
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	60%	40%	個別対応となるため、スタッフの人手不足や時間を考慮し、同じような内容については一斉連絡できるよう、保護者への文書配布などを検討していく必要がある
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	60%	40%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%	個人裁量ではなく、全体としての事例研究や実践的研修などに行えるよう工夫が必要
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	40%	60%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	60%	40%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	60%	40%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	80%	20%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	80%	20%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド128沼津店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	38%	63%	遊具だと狭い。身体を動かせるスペースも工夫できると良い 発達年齢も特性もバラバラなのにワンフロアであるため、使い方の工夫は必要。 利用者が使える療育部分1つで空間の仕切りが難しく、安全な午睡やクールダウンが難しい。また、トイレがひとつしかないため利用者同士や職員のタイミングが重なると対応に苦もなど改善が必要 収納スペースが狭い為、個別の道具に特化収納したり、お昼寝の部屋がない為部屋を使うと、個別部屋として の役割が難しくなっている
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	個別活動が頻繁できないことも あり工夫が必要。また、送迎が多く子どもを見る時間が少ないこともあるため、配置の工夫が必要。 日によって利用者数や職員数は異なり、送迎時間や午睡時間の調整をすると職員の配置が足りない時がある。 空間のバランスがあるので、職員の人数がギリギリの時は現場職員で考えて、休憩のとりかたを工夫している。送迎に出る時の人数確保だけでなく、部屋に残る職員、昼休憩をとる職員がいるという全体の把握が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	現場や相談し、能力カードやトイレチェック表などを取り入れている 倉庫が足りず、療育室におもちゃが常にある状態である。支援部分と療育室に仕切りがなく一体化しており、主体的な身支度をすることが難しいこともあり、改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	走り回りたい子とお昼寝したい子が同じスペースにいなければならないため、工夫が必要。 換気ができる窓がなく、空気清浄機などの活用も必要。出入口の自動ドアの開閉から なるなどの侵入があるため、工夫が必要。大人用のトイレがひとつのみであり、衛生面やプライバシーを配慮したオムツ替えやトイレトレーニングなど改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	88%	13%	現場で工夫している。 施設が小さく、個別の部屋はあるが備品やおもちゃ、遊具等を保管する場所がないため、そこで保管しなければならないなど工夫が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	88%	13%	職員により意識の違いあり、空間や考え方の違いによりできることに限りがあるため、改善が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	モニタリングの日々のやりとり等で保護者等の意向を把握、共有する機会はある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	前札で話し合いの場がもたれるようになったが、少力はパートさんもいるので、少力話し合いの機会を時々設けてもよいかもと感じる。実際パートさんからも意見がでていたため、それも踏まえて検討が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人により、研修資料を読むだけではなく、研修を動画やzoom等で受けることができる時間を確保している場合とそうでない場合があるため、工夫が必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	88%	13%	1人1人に合った支援を考える期間も適切に実施する環境も不足しているため、工夫が必要 情報共有や支援会議が行われる。 個別療育や集団療育の内容は担当者を決め、ローテーションで計画を立てているので、担当者が責任を持って支援する機会や様々な発想もあり、現場職員同士の連携はできていると感じる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	情報共有や支援者会議が行われる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	情報共有や支援者会議が行われる。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	情報共有や支援者会議が行われる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	88%	13%	情報共有や支援者会議が行われる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれに、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	情報共有や支援者会議が行われる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	情報共有や支援者会議が行われる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動プログラムを記録し、内容が偏ることがないようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用者の人数が多いことや環境の関係により、適切な内容を配慮することが難しい場合がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	職員の出勤時間と子どもが来所する時間が同じなので、子どもがいない時間に話し合えないところもあり、工夫が必要。 前札を行い、情報共有をしているが、出勤時間と送迎や利用者の利用時間が重なることがある。 レクカンとは別に集団と個別の計画表を作成しているので、必要な時、その日の内容は話かけてもわかるように準備している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	あえて時間を設けてはいないが、その日の状況などを共有している。全体の周知は翌日の朝礼に行う。 前札をしているが、職員の人数的少力がよいかなと思う時もある。職員から意見がでた事もあったため、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	HUGでの様子の共有は保護者様に書んでもらえている印象 集団活動や個別支援の活動内容の記録を行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	共有していき子としていない子がいるように感じる為、改善が必要
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要があれば、相談支援事業所を通して会議をする準備はできている
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幅のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	LINEなどの連絡ツールを活用して情報共有を行う。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さまや負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速な対応を心がけている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	63%	38%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88%	13%	職員の履歴書等の扱いについては処分するなり、管理者以外への流出（写真使用）等は避けた方がよい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	実際に発生した際の安全確保のための環境や設備等に不安がある。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	88%	13%	緊急連絡先や職場の連絡先は必ずさく 具体的な取り組みについて十分に把握できていないため、判断が難しい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド129船橋夏見店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	限られた空間の中での活動スペースの確保や環境設定を工夫している。 活動はできるようにメインのお部屋は広く使えるようにしているが、個別に使う部屋はもっと片付けが必要で、収納できるようにスペースがあればなお良い
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	個別で、対応しなければならない（多動、情緒、他児・職員への攻撃）が見られる児童に一対一で対応すると、職員が不足になり、こどもの対応、レクの進行に問題が出る場合がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	レクによってはもっと人手が欲しいなという時はある マンツーマンが必要な児童が多い場合、職員の手がどうしても取られてしまい、人手が足りないと感じることが多くあるため、配置の工夫が必要 お昼時の送迎マフロアが半薄になる時があるので、人数が増えたら紛かります 外部へルプサービスにお願いすることが多くなり、職員全体に対応をお願いしてしまうことがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	パーティション等で、部屋を区分けするなどの工夫は必要 親や荷物を子供が触らないよう隔てるものがあると良い 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	80%	20%	お子様にお昼寝させるなどの工夫も必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	70%	30%	まずは定期的なミーティング開催の工夫が必要 保護者からのhugからの情報は共有しているが、それに対しての対応した内容、対応方法の共有がないため、子どもへの対応方法で統一できるよう工夫は必要。業務連絡は、LINEで流れてくるが、伝え方に工夫が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	70%	30%	情報共有がなく、困ることが多々ある、改善が必要 ミーティングや話し合う時間がないため、話し合いを行うような工夫が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	まずは定期的にミーティングを開催して欲しい ケース会議など、共有する機会はもっとあっていいと思う 以前までけられていたミーティングが実施されにくくなっているため、改善が必要 パートさんを含め、情報の共有は、LINEで行われている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月、研修を受講させてもらっている 自分のスキルアップにつながっているため、とても有りだと感じている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	ファイルに閉じてあるので、個々に閲覧出来るようになっている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ファイルに閉じてある書類から対応しているように思える
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	情報共有が必要であり、パートさんにも声をかけてミーティングに参加できるような状況をつくる必要性は感じる
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	子ども に関する情報がその場のみで共有され、全体として蓄積・伝達されることがないため、改善は必要 職員が一人ひとり、意識を持って支援計画を閲覧することは難しいため、りミーティングが必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	90%	10%	hugのコメントに気になることは、入力している。その後の対応、情報共有については、パートさんを含め情報共有をしたほうがよいと思う
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	いろいろなスタッフから、考え出されていて、面白くてよいと思う チームではなく担当制であるが、誰でも実施できるような仕組が構築されているのがよい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	職員間で配慮しながらレク案を考えている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	70%	30%	以前に比べて個別活動を行う機会が少ないため、改善が必要 個別対応の必要な、子供には、個別の時間が必要だと感じる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	送迎や出勤時間がバラバラなため、全体というよりは個々で伝えることが多くなりがちであり、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	送迎や、退勤時間がバラバラなため、全体での共有は難しく、工夫が必要 気になったことや、問題、対応策など、同じ対応ができるようにした ほうがよいと思うし、子どもの事で気付きを共有していきたい。送迎で、出ている時間が多いため、情報共有は、必要だと感じる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	記録をとってはいるが、それを次からの支援・改善に繋げるところまでは至っていない(全体共有ができていない）ため改善は必要 hugは、しっかり入力している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	そもそもミーティング実施の機会が少ないため、改善が必要
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	管理者が行なっている
	26	幼稚園や保育所等の訪問先に対して、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	管理者が行なっていると思われる
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	管理者が行ってると思われる
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幅のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	地域資源を使うなどしてもいいと思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	ケース会議ふるといいと思います 全体共有ができていない、話す・伝え合うことが多い 基本的には、送迎時、送迎時間に支障ない程度で、話をすることが多々ある
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	情報提供はしてる時あると思うが、研修までは やれていない
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の ご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画書には、保護者のサインがあるので、ご理解いただいていると思われる
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	管理者が行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	保護者会などは行っていないので、何かしら見学会などの機会はあってもいいかと思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように努めており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	管理者が行っていると思われる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	90%	10%	LINEの業務使用は、個人情報保護の観点からやめた ほうが良い
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%	マカトンや、絵カード、ゆっくり一語、2語で、伝える
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	地域活動はできていないので、何か開かれるものを考えていかないと地域に開かれた事業は難しいと思う 交流は無い
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	豪雨も含めさまざまな災害に対応する訓練や対応策をもっと考え行うべきだと感じる 避難訓練なし
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	曖昧な部分があるので、早急に対応しておくべきだと思う
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	この場のや業務而で、車での移動中や而に対しての対策が必要じゃないか、保護者さまにも理解が得られるような対策が必要でないかと提案したが、特に対策はありませんでした。不満だとのことでした。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	管理者が行っているのではないかと思われます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを書いたほうがよいと思った事案は、自主的に書いている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	特にミーティングが無いので、指示はありません
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	やむを得ない造反刻雲をした場合では、管理者に報告し対応してもらっている

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド130甲斐店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	掲示物や物の配置など工夫している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14%	86%	職員が足りておらず業務に支障が出る部分もあるため工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	イラストを用いたスケジュールなど環境構成に配慮している 皆々に変えているがバリアフリーとは言い難いところもあるため、工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	模様替えからの整頓が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	86%	14%	職員の配置によって利用できるかがかわるため、改善が必要 子供が自分で入れる個室がないためスペースが必要だと感じている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	43%	57%	業務が多くあまり時間が割けないところもあるため、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71%	29%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	意見を話し合う機会は多いが、あまり自分から発言していないため、改善は必要 朝礼があるが発言できていないため、改善が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	研修については窓口が開かれている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	職員からも日々の聞き取りと話し合いをしている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々の子供の様子を集約している。 非常勤の方が分からないことが多いが、聞けば教えてもらえる
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	86%	14%	いつでも確認できるようになっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	子供の情報共有はできている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援が具体的になっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	相談しあって作っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	季節に応じた物が作られている。 季節に合ったものを作れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	レクだけでない集団活動ができている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	朝の打ち合わせをしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	朝礼で子どもの様子を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録をもっとしやすくなくてはいけないと感じる
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングは随時行なっている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者だけでない参加を考える必要がある
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	もっと担当者会議を頻繁にしたい
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	話し合いは随時行われている。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	担当者会議を随時している。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	86%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	より外に出ていけるようにに工夫したい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	引き渡しで話をしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	モニタリングの際に話をしている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、おやつ代金負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%	電話相談や、送迎時に話をしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%	きょうだいの預かりは活動で話かしている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	各事業所の玄関窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	地域には、まだ出ていないため、工夫は必要
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	避難訓練をしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練でおこなっている。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	86%	14%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86%	14%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	86%	14%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド131新潟空港通り店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	部屋数が少ないため、使い方の工夫は必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	63%	38%	要件あるスタッフが足りないと感じることがあるため、改善は必要。 基本人員配置が満たしているが、利用児童によっては人手が足りないことがある。1人が休んでしまうと人員配置が足りず、他施設から応援だけ借りることがあり、人手が足りない時に配置の工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	玄関ドアの改善、屋内ドアの開閉時に狭まれる可能性があり改善が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	88%	13%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	情報が現場に降りて来ないこともあるため、改善が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	63%	38%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	75%	25%	現場に更新された時の情報があまり降りてこないため改善が必要
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	88%	13%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	現場スタッフと児童発達管理責任者が個別支援保護について話す機会が少ないため、改善が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	時間を作る工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	会議を行えるような工夫が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	13%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	13%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等ititle児童発達事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	75%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう繋がくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	13%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88%	13%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	88%	13%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	13%	事例集ではありませんが、軽傷などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	13%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド132南沼上店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	広めのワンフロアなので、目がいき届きやすい 児童様人に合わせた支援を行うことが出来ている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	日によっては足りない日があるため、工夫が必要 人数は適切、法設時間帯とスタッフが不足すると感じる部分もあり、工夫が必要 日に寄って利用者数のばらつきがあり、対応が難しい日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	玄関に段差はあるが、今の利用者は問題ない。 切り替えの時間を明確に設けている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	以具等定期清掃している。 毎日の清掃には力を注いでいる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	個別の部屋が狭いのもあり他との共有スペースとも使っているので整理が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 その時点出ていあまり時間を使っていなかったため、改善中
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	全員新しいスタッフなので、今回の結果を活用していく 業務の改善にはつながっていないので体制づくりが必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	9月から開始され、改善中 その時点が無かった。今、業務改善中。 充分とは言えないが行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期で募集されている。 受講できる体制を整えている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	83%	17%	9月から開始され、改善中 カレンダーや結果を家族に通知している。 たでいる改善中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 今、業務改善中。より伝わりやすく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 今、業務改善中。より伝わりやすく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つ公又は支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 本人支援、家族支援の項目あり。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 今、業務改善中。 改善中
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	9月から開始され、改善中 意識している。 固定化しないように意識はしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	9月から開始され、改善中 今、業務改善中。 計画に沿って指導していると思う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	何か問題があったり、個人が思うことがあれば共有している 今、業務改善中。 必ず、はれれていないため、改善が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	何か問題があったり、個人が思うことがあれば共有している 出ていないことが多かったため改善中 改善中
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	両親的に分解できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	モニタリングは実施している。 検討中
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	児発管が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	あまり、関わりがない。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	あまり、関係がない。 行っているが充分とは言えない・改善中
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	改善中
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	充分とは言えないので改善中
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	改善中
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	67%	33%	9月から開始され、改善中
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	83%	17%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	67%	33%	改善中
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	改善中
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	各事業所の窓情窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	33%	改善中
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	実施予定
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%	充分とは言えないため、改善が必要
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	充分とは言えないため、改善が必要
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	改善中
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	50%	50%	改善中
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	改善中
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	33%	改善中

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド133厚木及川店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	収納スペースが足りないため、工夫が必要 放デイと自発を分けて平均に合わせた要員を適切に行っている。 巧技台を使いたいが安全面やスペースを考えると使いきれていないため、改善が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	当日、送迎表の調整が必要な場面があり、混乱するため、前日にも送迎確認をするなどの工夫が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なって行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	集団の運動では部屋が狭いと感じることがある。走り出す児童は障害物や人にぶつかるリスクがあるため、工夫が必要
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	50%	50%	クールダウン出来る部屋が無く、使い方の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員同士で情報共有を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングで情報共有し、対応策を検討、実施している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月、ミーティングを行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	外部にて発達検査等を実施し、現場で反映させている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内で研修を行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	適切に支援プログラムを作成、公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	ミーティングで情報共有し、行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画に沿った支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それより、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	具体的な支援内容が設定されている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	様々なプログラムを検討、実施している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	行われている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	自発管が行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	責任者や自発管が行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	整えている。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	図っている。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	情報共有や相互理解を図っている。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	情報共有はしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡および情報共有を行っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	情報共有は行っている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	設けている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	行っていないが必要に応じて検討
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速に対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	留意している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	配慮している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	行っていないが、必要であれば検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	行っている。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	確認している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	行われている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	検討している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	適切に対応している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	記載している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド134北国分店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33%	67%	狭い室内の中でどうしても走ってしまう児童がいるのや人数に対してスペースが適していないこともあり、工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	やや少ないと感じる日も否めないが、いる人数で回るよう組んでいる 人員が足りていない日は外部ヘルプサービスや他法から ヘルプが来るが新規なので送迎時など配慮が必要。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	廊下がある構造のため、子どもたちが廊下に出ぬようスタッフが目を配っている 視覚的にわかるよう協力カードなどを増やしたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	33%	67%	書類など子供が触れる場所に置いてあるのは改善しないといけないと思う
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	67%	33%	昼寝の時間等は職員が1人つき別室にて寝かしつけを行なっている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	33%	67%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	33%	67%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	33%	67%	子どものいない時間に職員に話をさく機会を設ける意識をもっている 会議の回数が少ないため、改善が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	33%	67%	ラインのグループに研修の共有を行い、各自が研修載員を見やすいよう配慮している 毎月の動画を視聴している。 初にも研修を受ける機会があれば受けてみたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	67%	33%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	契約時、見学時に本活の困りをヒアリングして支援計画を作成している 着しい児童が入った際に事前に作り終えていないことがあり、アレルギーなど重要な情報もわからないときがあるので受け入れる前に職員で共有したい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	33%	67%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	33%	67%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	33%	67%	送迎時などにも保護者に情報共有、HUGや電話でも情報共有をおこない、職員間で共有している
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	各項目に分けて記載する事で視覚的にもわかりやすくしている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	補助人にてレクリエーション内容を決めている 什るスタッフが設定をされているため、全員で作成する等改善していきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	その季節の内容を取り入れる事で、季節を感じられるようにしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	33%	67%	保育園や幼稚園、保護者とも適宜情報の共有を行い支援計画に反映している 集団活動を中心に行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	朝礼にてその日の朝、保護者から出た情報や昨の児童の様子などを共有している 朝礼で児童の体調などの共有やレクの内容を共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33%	67%	退勤時刻も近々で支援終了後の打ち合わせは難しいため、工夫は必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	33%	67%	HUGなどで適宜記録、市によっては内容を毎月共有している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	67%	33%	対面でのモニタリングを徹底、話しやすい環境作りに留意している
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	67%	33%	児発管が参加する際にもほかの職員に情報を聞くようにして情報の精査を行なっている 現状常場に出ることがほとんどないので子どもの毎日の様子はよく理解することは難しく、工夫が必要。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33%	67%	保育園、幼稚園の先生とも面会し、情報の共有を行なっている
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	保育園、幼稚園の先生とも面会し、情報の共有を行なっている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	モニタリングの際などに施設内の児童の様子や家庭での児童の様子の共有を行い、連学先などの相談もしている
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば情報的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	近場の保育園などと外出の際に交流がある事もある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	67%	33%	モニタリングの他にも連絡をおこない、情報の共有を行なっている
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう組かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に読み合わせ一緒に確認を行なっている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	目標を設定しつつ、保護者とコミュニケーションをとり、児童にストレスのかからないレベルの目標設定を行なっている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	法人内でサインをもらった支援計画の提出、一括管理を行なっている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	67%	33%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	67%	33%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	33%	67%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	67%	33%	スマホに重要な情報がたくさん入っているため、扱いには配慮が必要
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	33%	67%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%	契約時確認を行なっている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33%	67%	契約時確認、火の通されたものなら良いかなども確認している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	67%	33%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	33%	67%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	33%	67%	記載に加え関係時モニタリング時に保護者に確認している

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド135篠ノ井店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	放デイとの定数の区分けが難しいところもあり、配慮が必要 児童発達支援と放課後等デイサービスを同一スペースで実施しているため、利用児童が多い時間帯には スペースが狭く感じられることがあります。活動内容や利用人数に応じて、スペースの使い分けや環境整備を工夫する必要があると考えます。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	放デイの送迎で何かあった時に対応できる人員を確保する必要があると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	83%	17%	放デイの個別療育等が始まる場合、場所を確保するのが難しく工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれで、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の窓口口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	33%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってなり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83%	17%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行ってなります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってなります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってなります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド137新栃木店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	トラブル等が起きそうな兄妹や、活動が広い場所を使うものの場合には、グループ分けなどもしながら行なっている 空間になるべく何も置かないようにしている点は配慮されているなと感じます
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	こどもの状態によっては、職員数が不足してる部分があるので、配慮が必要 管理者は事務室で事務作業をすることが多いので、兄妹の対応など他のスタッフでの対応などと工夫が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	シンプルにすることで　視覚的情報を分かりやすくしてる 1日の活動の流れや着替の方法などについて名子さんの名前の色、スタッフと車の写真が貼ってあり、お子さんが見て確認できるようになっている。 他almな視覚的情報はないと思います。ただ、玄関扉の鍵の位置は子供の手の届かないところにするなどの工夫は必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	入口からルームが一望できる点はいいなと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	認識の名前が貼ってあり、お子さんが入って良い認識とスタッフの認識とわかりやすくなっている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	70%	30%	わかりやすく業務を視覚化してる 定量の対応で疑問が生じたとき、それを相談できる会議のようなものが先日開かれました。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	モニタリングの結果など全員で共有するように貼り出されているのはありがたいなと思いました。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	先日、会議へ参加した。時間がない変休みなどは工夫が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	動画研修を受けている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	90%	10%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	いつでも振り返り確認ができるように、まとまって整理されています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	療育施設というには、専門性を持ったスタッフが不足しているなと感じることもあり、配慮は必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紹介をお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってなり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしてなります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的に行ってなります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	90%	10%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行ってなります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行ってなります。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド138松本水汲店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	お昼は午睡部屋、昼食部屋とわけて使っており、夕方の活動後は、落ち着いて遊べるようその日の人数によって部屋を使い分けています。 職員の部屋とおもちゃ部屋を配慮できているが、もう一部屋あるとより良いと思う 広いスペースで余裕を持って動き回れるのでとても良いと思う。午睡の部屋は落ち着いて寝れるように暗く出来て広さもちょうど良い。
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	休日は、子どもたちの新たな体験や経験を積み重ねい思いから出かけることが多いです。松本市外近では、体験施設などが少なく自然と遠出になってしまいます。その際に、職員の休憩確保が厳しいなと感じることが多ります。また、他園や自園行為の児童もいるため職員にもう少しゆとりが持てれば遠出レクも余裕もって楽しめるのかなと思います。 今の人数で良いと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	認識が色分けしてあり、視覚的に子どもも説明がしやすい点 靴やカバンを入室してすぐに片付けられる位置や高さになっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	毎日次監塩素酸を使った消毒清掃に加えて、おもちゃの消毒も定期的に行っております。 収納スペースに不足を感じるため、危険と思う時もあり工夫が必要 毎日の掃除も行き届いている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	63%	38%	その日の人数によっては、子どもが個別になれる場所がない。職員の法定や個別対応が必要な児童も多いため、個別になりたい気持ちにさせる人為調整が難しい。 午睡が出来ないこどもがいるための部屋の使い方への配慮が必要 気持ちの切り替えやクールダウンのために使える部屋がある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	88%	13%	レク活動は、計画書などを作成して職員間で共有を行っております。 朝から児童が過密する為、ケース会議や日々の行動記録を継続して話し合う時間がない。 職員同士のコミュニケーションや情報の共有が出来ている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	週に1回の職員会議を設けています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	河動会議での内容が、非常勤職員に共有されているが不明な部分があるため、工夫が必要 会議が行われている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	資格研修は公休で対応しているため、職員の質の向上のため出勤で対応するなど検討できると良い 研修動画が見れるのはとてもありがたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	詳しく教えていただいています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	口頭、LINE、文書で全員に伝わっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画には必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	早めに決め、全員が把握した上で準備が進められている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	様々な項目をバランスよく考えれれている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	ご意望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	表やホワイトボードで一目で分かりやすく伝えられている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	報告がきちんとできている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	メモするようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	63%	38%	利用があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	交流する機会が送迎時しかない為、何らかの機会を設けて関わり行っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご以降のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	保護者会などの企画はしていません。自由参加型でやってみたいと思いました。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	Instagram対銃した為、活動概要や活動内容の発信が難しい。検討は必要。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	文書やホワイトボードで情報共有出来ている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	88%	13%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の要望者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎日チェック項目で確認している
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド139岡本店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	パーク、放課後デイサービスと分けて活動できるスペースを確保している。 状況に応じて支援室を使い分けることができている点は工夫している
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	忙しいなかでも、情報連携やコミュニケーションをとれる体制が整えられている。 こどもから目を離さないよう職員間で声かけをおこなっている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	文章だけでなくイラストを使用した掲示をおこなっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	職員で清掃を毎日おこなっている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	静かな環境で過ごしたいこどもが使用出来るようにしている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員間での報告を欠かさずおこなっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援の方向性をスタッフ間で共有できている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の各ら ゆる支援内容も踏まえながら、こどもら支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	可能な時間帯があれば検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとともに、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	SNS運用を試してみたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	安全面の確保ができるならやってみたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド140上越店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	音が響きやすいため、配慮が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	特に要休み等の子供達が長時間いる傾向は、子供が多すぎかつ職員が少ない場面もあり、子供の安全確保のためにも配慮が必要だった。 基本的に2:2人配置としているが、子どもの人数によって職員を3人配置している。 個別対応が必要な子が多く、職員の手が足りていない日があるため、配慮が必要 利用される方の特性に合わせた人数配置にできるとよりよいと思われる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なって おります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	70%	30%	机を離したりパーテーションで仕切ることで工夫している 個別活動を行う部屋はあるが、基本的には個別活動を行う時のみに使用される。 パニック や興奮が起こった時にクールダウンする場所がないため、周囲の子供達への負担が大きく配慮が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の6つの支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	その日の振り返りではなく翌日の朝礼や職員会議で実施している 当日中に共有のきない場合は後日共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	会議までに職員間で子どもの様子を書いている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	80%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	30%	70%	地域の公園や複合遊具施設等へ定期的に外出している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家庭の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向等の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	70%	30%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド147市原五井店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22%	78%	支援室が狭く、活動の両工夫が必要。午睡認識についても支援室の整理が課題。寝付きづらさもあるため、工夫が必要 定員がフルの時にはスペースは狭いと感じることもあり、活動の工夫が必要 部屋がとても狭いので少しでも使ったりするとより難しく、工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	専門職が少ないと感じることもあり、個別療育などの際の工夫が必要 人員不足によるサービス低下について新改善 1人ついてあげないといけないお子さんが曜日により偏りがあり、配慮が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	認識ごとに印をつけてわかりやすくなっています 衛生面が、改善必要です。使うプレートの共有やアレルギーがあるお子さんへの食事の際の配膳なども必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	支援室が狭いため、置いてある椅子にぶつかったりしないよう、工夫が必要 トイレシートつまり、戸詰まりの多い方には配慮を要する
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	78%	22%	個別療育はほぼ行うことが出来ていないため、改善が必要 狭いので認識数が少ないと感じることもあり、使い方の工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	33%	67%	子供のカンファレンスを行うなどの工夫が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	44%	56%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%	認識や人員が少ないときもあるので改善が必要と思われます 毎月2回設けてるが、改善内容や時間までには至っていないこともあり、職員の話を活かすためにはもう少し工夫が必要 もう少し機会がほしいと思います
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	56%	44%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	67%	33%	もう少し参加の機会を検討できると良い 非常勤も含めた実地の教育教養研修があると良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	89%	11%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	78%	22%	個別は、ほぼ行うことが出来ていないため、工夫が必要 もっとスタッフ全員で議論する場が必要と感じます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	67%	33%	作成前にスタッフにヒアリングしてくれて最近の様子など管理者に報告してます 専門職からの意見もあるとより良い支援につながるのではないかと思われる。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	56%	44%	人員不足につき支援が行き届いていないところもあり、改善が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	67%	33%	日頃の子供の情報共有が中心のため、もう少し様々な話し合いが出来るよう工夫が必要
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の右ら5つ全領内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	78%	22%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	日々、きらんと業務内容が共有されるよう工夫が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	78%	22%	改善が必要な場合、作実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	56%	44%	個別療育を行うことが出来るよう、工夫が必要 勉事医所からも個別を取れる方が多くくださってます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	44%	56%	レク前の受差な説明がある時もある。打ち合わせが行われるよう、改善は必要。 アセスメントを熟読して欲しい、と伝えられているが、もう少し詳細を話し合えるよう工夫は必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	44%	56%	ノートやボード や会話での共有が中心。打ち合わせなどがもう少し行えるよう、改善が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	78%	22%	話し合いの場を設けるなどの工夫が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	89%	11%	管理者からの情報共有に関しての改善は必要
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%	現場で対応してる職員が参加したり、話しに加わったりする機会はあまり無いため、改善が必要
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	保育園、幼稚園と連携して一日の様子を報告したりして共有しています
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	できる範囲情報交換はしてます。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	しっかりお子さんの特性を伝えてます。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	78%	22%	同席があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	グローバルの枝事務所と合同レクは行われていました
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	お子さんに あって出来事をお預りの際にお伝えしてます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	管理者が中心に行っている
	35	運営規程、支援プログラム、お子さまや負担等について丁寧な説明を行っているか。	78%	22%	個別があると説明しているがまだ実施できていないため、改善が必要
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	管理者が実施しているが、共有の仕方には改善が必要
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	89%	11%	管理者が行なっている。 職員には口頭ではなく、周知に目を通すように言われている。必要に応じた説明の機会など、改善が必要。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	89%	11%	管理者が行なっている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	89%	11%	管理者が対応している
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	44%	56%	用紙で対応している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	事務所のキャビネットに保管してます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	89%	11%	情報共有が常にされてないので、改善が必要
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	常に用紙を見ておくように、とは伝えられている
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	78%	22%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、保護予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%	不足している部分があると思うため、改善が必要。 実際起きてしまったときの対応や、保護者様へ渡しておいた方がいい内容なども共有が必要。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	保護者様から渡われた内容は把握できている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	訓練の実施方法については、検討が必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	78%	22%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	78%	22%	管理者へ伝えた内容の検証の仕方など、工夫が必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	78%	22%	管理者に報告したことを事業所で検討しているような体制が必要 オンラインだけでなく実地研修があると良い。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	78%	22%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測実を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド150小名浜店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	クールダウン出来るお部屋がある。 人数が多い時には、2グループに分けて行なっている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	配置数は足りているが、実際に支援に入って利用児と関わってくるとなると不足していると感じるときもあるため工夫が必要 レクリエーションなど動きのある時には配置人数を多めにし、昼食など動きが少ない時には配置人数を少なくして工夫をしています。常勤職員がもう1，2人居ればよいと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	表示などを使い分かりやすくしている。 絵カードを使い、分かりやすくなってる。 見てわかりやすいように、ホワイトボードに1日の流れなどを文字だけでなくイラストも入れて明確にしております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日きれいに掃除して、心地よく過ごせつようにしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	気持ちの切り替えが難しい幼児には気持ちの切り替えができるように静養室を使えるようにしている。 いつでも使えるように、ベッド、タオルケットが準備してあります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	89%	11%	常勤で働いている人と一部の非常勤は出来ていると思う。 毎日の朝のミーティング、記録ノート、LINEを活用し、欠席などや学校からの伝言などしっかり共有できるよう努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	必ず共有して、良いことは続けまう、改善点などは、話し合いを持ち意見を出し合いながら改善できるようにしています。話し合いをします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	共有し、意見を出し合い良いものを改善策として皆で取り組むようにしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	非常勤でも振りたいと思った資格は取得できるような改善も必要 消防管理を取得、心肺蘇生法を学んだ
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個々の支援が必要な部分など共有して支援にあたっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	振り返りを行い、良かったこと、できなかったことなどミーティングで出し合い、共有して改善したり、良かったことは続けたりしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの項目すべてを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれに、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	保護者様、保育園、幼稚園などと連携して、情報共有を行なっております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月スタッフ全員から案を出し合っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日違う遊びを取り入れて固定化しないように配慮している。 新しいものがほとんどではあるが、季節を感じながら行えるものも交えながら立てていただいてます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	その日その時の人数で方法を変えながら行なっております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その日のプログラム提出がスケジュールを共有します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	ミーティングで伝えます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	成長したこと、できなかったこと、改善点など伝えて見直しをしています。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保育園、幼稚園の見学や関連機関からの見学など共有したり連携をとっています。
	26	就行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育園、幼稚園の見学や関連機関からの見学など共有したり連携をとっています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	市で製作した保育園、幼稚園、支援施設などが記入し、学校へ持参するものを準備されているため、保護者様が持参した時には、記入しています。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、職種別に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	89%	11%	例年があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中での幼いこどもと活動する機会があるか。	89%	11%	保育園、幼稚園などに週所通園しながら利用しているお子様がほとんどなので他のお子様との触れ合いはあります。また近くの施設に遊びに行ったりすると一緒に混んだり開わりを持てます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者様にその日の様子を伝え、幼稚園、保育園の様子も聞いたりしています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	ペアレント・トレーニングが必要だと思われるご家庭が自分の子供の特性を認めていない場合もあるため、こちらからの提案を受け付けない場合もある。 市などから送付されたものなどは、玄関に展示しております
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	モニタリングで必ずお聞きしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ず支援計画書を提示して保護者様と一緒に確認しながら行なっております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	都度行なっています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	兄弟同日利用によって、片方がストレスを感じていることを伝えてはいるが保護者は同日利用を望む。その点が兄弟間での交流は図りの状態を気を付けなければならないため難しいのが現状。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56%	44%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーがある子の名前、何がダメなのかを書き出してある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	起こってしまったらすぐに記入している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド151今市店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	遮光などの配置の工夫を行っている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	スコミュニケーションをとりスタッフの相互の助け合いがある
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	変更が多く児童が適応しにくいのではないかと考える 個々の児童特性を考慮しながら、慣遇化を考えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	こまめな清掃、整理整頓、消毒を行っている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	60%	40%	物が多い為、改善が必要 距離やクールダウン、個別療育の感覚がないため工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	60%	40%	話し合いがかなく視点が広がりにくい印象があるため改善が必要 時間をあわせて、スタッフのコーティング時間確保が難しいため工夫が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	疾患に対する話し合いは多いが個人因子に対しての話し合いは少ないため、改善は必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	意見の偏りあり改善につながらないこともあるため、取り組みの仕方など工夫が必要
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	60%	40%	一回だけでなく、深く学べる研修も欲しい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	問題点に着手しがちでプラス面への関わりが少ない印象があるため、今後改善が必要
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	60%	40%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもや支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動の面で状況よりも計画通りを重視している気がする印象もあるため、見直しが必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40%	60%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	40%	60%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	20%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40%	60%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%	子どもに対しては難しい部分が見られるため、改善が必要
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	80%	20%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、軽傷などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド152郡山静町店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	広過ぎるので安全面に考慮し工夫して過ごしています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人数によって職員を配置している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	目で見て分かるマークなどで表されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日清掃を実施している。おもちゃの消毒も実施。 毎日、トイレやフロアの清掃を行っている 毎日掃除してきれいにしている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	89%	11%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	89%	11%	職員間で話し合いをしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11%	89%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクリエーションカレンダーを作成している。スタッフ間で確認、見直しも同時に実施。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別療育などで情報共有している。計画に沿った療育を実施。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	44%	56%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご意望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	44%	56%	送迎の時間や出勤時間の違いもあり、スタッフが揃わないため実施できていないこともあるため、改善が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	44%	56%	退勤時刻も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さんの状況や必要性に応じて計画の見直しを実施。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センター等関係児支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	78%	22%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や電子連絡帳にて、お子さんの様子を伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紙かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	56%	44%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、怪我などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド158境町店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	運動療育のスペースを確保している 自由遊びの領域にマットを敷き、定員内の児童が遊ぶ場所を確保している。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	91%	9%	多機能で放課後デイサービスの職員と兼ねさせている その日によるが、午後から送迎に出る職員が多くなり、入室中の児童を見る職員が足らないと思われる状況があるため工夫が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	何をする場所かを明確にしている 玩具や本を保管する棚を設置して、児童が使用したい物を自由に選択できるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清掃をしっかり行っている 遊び、レクを行う部屋を分け、児童に部屋の使い分けについて、口頭やイラストで伝えている。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の机型などを設置して必要に応じて使用している 必要に応じて、個別療育を示すイラスト付きカードを見本に示して、個別の部屋に誘導している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	91%	9%	会議等で共有している 勤務時間の短い仲介のような非常勤職員が参画するのは、現状では厳しいと思うため、実施の仕方などの工夫は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	82%	18%	迅速に対応できるよう情報の共有をLINE等で速やかに報告している 保護者の意見等を主に口にする機会があるが、現時点では前述のとおり非常勤職員がそれらを把握するのは厳しいと思う。伝え方などの工夫は必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	常勤同士の意見交換はあるが、非常勤が話さっての意見交換はあまりないため、工夫は必要 事務終了時に振り返り等を行い支援の確認を行なっている 非常勤職員に対してのミーティングが一度行われた。今後も継続できるよう検討が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	82%	18%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月実施している 昼休時間に動画による研修を受け、考察等を提出している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	アセスメントをしっかり行い保護者様と共有している プログラムの作成を月ごとに行い、表にして全職員に周知している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	評価シートを使用しながら、客観的に本人の様子を捉えて療育に反立てている 常勤職員により、上記の事項を計画的に行っている。タイムツリーのアプリにて全職員に、その経過を常に周知している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	対応についてその都度共有を図り一度した対応を心がけている 普段から支援についてのコミュニケーションを密にするような環境作りをしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	91%	9%	支援計画書を職員同士が確認できるよう目標となるところを提示している 計画書を、常に全職員が確認できる場所に提示している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	週の行動代理ツールを用いて評価している 上記質問の意味を理解するのが、自分自身には厳しい。ハグ、インシデント報告書、支援の具事例報告書を使用して職員間の共有を行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つ公支援内容も踏まえながら、こどもや支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	他機関連携をはかり情報を共有している 自分の仕事の領域外で回答が難しいが、他域の相談所等で連携体制を取っているのは周知している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	91%	9%	レクレーションカレンダーを作成している 毎月、内容について表にして明確化している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節の行事などを取り入れている 前述同様に、表に明記することにより、様々なプログラムを作成できていると思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	必要に応じて個別に対応している 個別で字習や製作、集団でダンスというように、様々な体験ができるように計画されている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	もう少し時間が取れるとよい できていない時もあるので、打ち合わせができる時間や環境を作れるよう改善が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	時間がもう少し取れるとよい 振り返り等を行う時間を設けるなど工夫は必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	振り返りの中で改善点を話しあう 記録をとる余裕がないこともあるため、改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	日々の行動観察で職員間のすり合わせを実施している
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者や児童発達管理責任者が対応している 常勤職員、主に管理者が参画している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	普段の様子を園などに見き聞きを実施している 電話、面談、就学等で常に関係機関と連携を取っている。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	全ての幼園関とはいえないための連携職員との共有をより図っていく 常に密なコミュニケーションを取っている。
	27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	連絡的なやり取りが少ないため今後検討する
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	73%	27%	例援があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	45%	55%	可能であればそのような機会も必要だと思うが、現状では職員不足のため厳しいため、検討も必要
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	91%	9%	送迎時や連絡ツールで共有している モニタリングの他にも、ハグの利用や送迎時の対応で、コミュニケーションを取っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	82%	18%	必要に応じて保護者様にお伝えしている 必要に応じて行えると良いが、こちらも周時点では難しい部分もあるため、検討が必要
	35	運営規程、支援プログラム、おテさま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	連絡ツールや送迎時にお伝えしている 管理者がきちんと行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	送迎時や連絡ツールでお伝えしたり確認したりしている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明後に報話同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	91%	9%	保護者様と直接話す機会を設けたり電話や連絡ツールでやり取りを行なっている 管理者が丁寧に対応し、常に連絡に行なっている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	45%	55%	機会を設定する事でを検討中である 戦時点で、そこまで交流の場を設けるのは厳しいところもあるため、改善が必要
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	送迎時や連絡ツールでおこなっている 職員間でも、出来る限り内容について迅速に共有できるようにコミュニケーションを取っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	82%	18%	レクリエーションカレンダーを配布している ハプモを利用して、丁寧に発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	個人情報は十分に注意してはいるが、アクセスの仕方など注意が必要 管理者印の徹底に保管している 近況表等、個人情報のある書類は、常にシュレッダーにかけている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	連絡ツールでやり取りをしている それぞれの立場を理解して常に丁寧に対応している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	検討していく 良いことであるが、現時点では厳しいと思うが、検討は必要
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	91%	9%	毎年実施している
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	91%	9%	毎年実施している
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	連絡帳で記載していただき管理している 職員間で迅速に共有できるようにコミュニケーションを取っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に確認　必要に応じて薬の管理も行う
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	91%	9%	研修を実施している 計画書の作成は行われているため、共有の仕方など工夫は必要
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	予測される事態について予めお伝えし協力いただく体制をとっている
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月報告している 自分自身としては、なるべく記入するように心がけているが、全職員間での共有、防止策について検討は必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修や自己評価など毎月確認している チェックリストを使い、常に意識している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	91%	9%	身体拘束に至るまでを各事業所で報告、共有している

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド159東岩槻店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	トイレが1ヶ所しかなく、空間も狭い。おむつ替えのある子どもについては、しきりのあるスペースや生活スペースに甘いが充満しないような区切りなどの工夫は必要
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	グループLINEでの確認、会議での意見交換を行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	幹設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等普児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	83%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	外レク以関へ行こうなどや、地域の子どもとの解原やコミュニケーションを図る機会を提供ている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご以降のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド160つくばみどりの東店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%	子供の数と職員の数がバランス良く整っている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	57%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	71%	29%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	71%	29%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	57%	43%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	57%	43%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	57%	43%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	71%	29%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	57%	43%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	57%	43%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	57%	43%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	57%	43%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	71%	29%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	14%	保護者と対応しながら行われている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	86%	14%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等参児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	86%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	43%	57%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう紐かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	71%	29%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行ってなります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	57%	43%	業務継続計画（BCP）の策定を行ってあり、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	86%	14%	スタッフと確認し合いながら行われている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	71%	29%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	71%	29%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	86%	14%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド164太田店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても日頃から小まめな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	100%	0%	常勤がメインとなっているので非常勤の方も参画できるような工夫をしていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20%	80%	外部からの評価はまだもらっていません。 評価を受けたことはありません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修に参加しています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それぞれ、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日振り返りをしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に関げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	40%	60%	相談があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向のご確認を行わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	保護者会はまだ開けていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、身を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド166郡山静西店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	集中して遊びたい子と、友達が作ったものを壊してしまう子のエリア分けが出来ておらず、工夫が必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	57%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	エレベーターの所に勝手に入れないよう工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	整理整頓に関して、改善が必要
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	57%	43%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71%	29%	話を聞いてもらう機会はある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	86%	14%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	71%	29%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	71%	29%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の6つの領域全ての観点に関連付けた具体的な目標及び内容が記載されているか。	86%	14%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	57%	43%	子供達が来る前に確認できるように、工夫は必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	共有の時間が取れるよう、改善は必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の妥当しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	14%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関の保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	71%	29%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	71%	29%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	43%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化等を伺せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	86%	14%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関受口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	57%	43%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	86%	14%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	86%	14%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	71%	29%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	71%	29%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	86%	14%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド168南船橋店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	職員が少ないため、配置の工夫が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清掃が行き届いている。備品の配置を動機の変更に変えている。 子どもと関わっていくようと活動しやすい配置が考えられたら、会議などを行い、変更している
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	静養室ではリラックスできる様に動線や目的に応じて適した配置で物を置いている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	67%	33%	レクなど書役の活動で計画と実施は行えているが、振り返りの時間がとれないため、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	その日の利用児童の特性によって臨機応変に対応できている。 作ったプログラムを情報員間で共有と添削を行ってから支援に落とし込んでいる
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	89%	11%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	78%	22%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	78%	22%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	78%	22%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援」の包括的な視点を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	78%	22%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	子どもの興味があまり引く事が出来なかったり、走り回ってしまう事が起きた時、会議や小さな話し合いなどで今後の流れを修正したりしている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	打ち合わせはしているが、なかなか十分な時間が設けられず、大枠のみしか話せない事が多いこともあり、工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	打ち合わせはしているが、なかなか十分な時間が設けられず、後日まとめて振り返る事が多い
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	78%	22%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	78%	22%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	78%	22%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	56%	44%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	56%	44%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう続かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	78%	22%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向を介在せていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	89%	11%	現場支援にあたっている児童指導員が直接電話等で、ご相談に応じている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	89%	11%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	56%	44%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	78%	22%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	89%	11%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	89%	11%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	78%	22%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	89%	11%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド172守谷店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	他の位置など工夫は必要 トイレの位置が少し離れており、安全面への配慮は必要
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	スタッフが足りない時間もあるため、改善が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	掃除は行っているが、子どもの活動が安全に行えるためには工夫が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	自身が気づいた事は時間ある時に改善しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、それらと、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	67%	33%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退勤時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のカとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センター等非児童発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等して共通理解が持てるように努めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう掲かくお伝えしております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意向の把握に努めさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	33%	67%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	33%	まだです
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	33%	67%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、低頻なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド173八千代村上店(パーク)

公表日　2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	午睡の部屋が狭いのでその時間だけ部屋の真に室外を作らないといけないなどの工夫は必要 広いフロアーが中央にあり子どもたちがのびのび過ごせる点は良いと感じます。改善点は窓が開かない為空気の入れ替えが出来ない。また、エアコンが広い部屋にある為、学習室や午睡室の有毒な家庭管理が出来ないところもあり、工夫は必要 認識ゴロいで汚れが続くため掃製に非状ボが必要 広さも適切、環境整も適切です
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	現状は手探りと感じるが、経験者が少ない為手探く感じにくい。スキルアップの件上ができると良い。 シフト調整などの工夫が必要 利用人数に合わせてスタッフも調整しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造をされた環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	認識は広く、何か問題があった時はその子と協せる認識があるのでいいと思います。 トイレを開けるとお友達が見えるが、仕切りがない為子どもがフロアーから玄関に飛ウてしまうことも有り、工夫は必要。 子供にもわかりやすいように視覚化している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	机しか置かず広々としている 明るく青い為神聞で良いが、遠足に室しているため埃が入りやすく、掃除の仕方に工夫が必要 毎日掃除を徹底している
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	親をかけられるようになっている クールダウンや個別療育等、子どもの程所による場所に小さな部屋があることで活用しやすい。 子供の意見を尊重するように設せるような環境を作るようにしている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	新園設、未経験スタッフ等の為規在作り上げている。 ミーティングや、コミュニケーションをとりながら対応している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	63%	38%	全員で共有できている 新施設の為今回初めてだが、改善に努だたい。 保護者とのコミュニケーションを意識している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	全員で共有できている それぞれの思い生位とやすい環境にある。 常に情報を共有するようにしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	まだ外部評価はないが、何かあれば対応していける環境はできている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	必要な研修は行われている。療育に関する基本からスキルアップまでの研修があると処良い。 研修や自己研鑽は続けていけるようにしたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	スタッフみんなが、一人一人の目標を意識していく必要がある。
	12	個々のこども に対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	一人一人がきちんと理解していく必要がある
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	初回モニタリングはこれからだが、全員が関与し、支援にあたれるようにしたい。 最善か、最善ではないのかをきちんと話し合いが必要だと思う
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画書などきちんきちんと目を通すようになっている
	15	こどもの遠応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	88%	13%	スタッフ間でも情報を共有している
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のなもい)及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	家族ともコミュニケーションを積極的にとるようにしている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月みんなで話し合い行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	5領域を考慮しながら一定の選目に偏らないように計画を立てている。 バランスよくいれるように意識している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	情報を共有しながら対応している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	ミーティングで1日の確認などを行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気がいた点等を共有しているか。	63%	38%	ノートに書いたり情報の共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	保護者とも情報の共有して子供の成長ができるようにしている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	13%	一人だけの意見ではなく、スタッフみんなで取り組んでいる
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	責任者が参加しその後の情報を共有する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	できたばかりなのでこれからではないかと思います。 これから徐々に繋ウていく必要がある。 保育園から園学がきたり同じ子供の様子を見てもらうことで共有している
	26	就行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的障がい者)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	幼稚園や保育園とも連絡を取り合っている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	38%	63%	これからだと思います。 また就学時の移行がないが、今後は必要になる また近々就学予定の子がいないため今後の課題
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや療育活動支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	88%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	1日の様子など対面時にお伝えしている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	チラシを貼ったりしている
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	児発管が話をしている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こども や保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	児発管が協をしている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者様からサインを頂いている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、援助や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時にコミュニケーションから相談になることもある
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	特にしていないが、今後検討していきたい これからだと思います
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	わからないことは当日お伝えするようにしている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	カレンダーなどで予定はお伝えしている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	親をかけるなど、工夫している
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	肯策に気をつけるなどしている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13%	88%	招待はしてませんが、これからだと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実際に行っている
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	実際に行っている
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	薬が必要なときは指示書をもらう
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	13%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	ファイルなどに保管している
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	13%	スタッフ内で共有する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	仲間で話し合っている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	児発管が担当している

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド175流山店(パーク)

公表日 2026年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	フロアが分かれている特徴を活かし、場面切り替えが出来る様工夫している。 職員の人数などの工夫が必要
	2	利用定員や こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0%	100%	常駐スタッフが少ない為、他店からのヘルプなどの工夫は必要。 少ない人数でもるべく児童の目が届くようにしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	机や椅子が置いてあるフロアと何も置いていないフロアにする事で視覚的にも子供が認識しやすい様にしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	掃除ウ仲間の穴の補修などな改善は必要 遊具の破損のほかに欠けなる作はその度で補習にしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%	0%	人数の関係上認められない場合がある 危険なハサミや、パソコンなど場所を考えている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	75%	25%	人数不足のこともあるため、改善は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	Hugなどをきちんと皆で把握し、話しをしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	送迎などで忙しい中、時間がある時に意見交換をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	資料等まめに目を通してきちんと確認している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で療育内容の確認、見直しを行ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	新児童の確認と途中経過を把握するようにしている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員が少ない中コミニケーションを重視している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、及び「地域支援・地域連携」の取り組み及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、充実した活動に繋げられるよう工夫し設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応の集団での関わり方や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	少ない人数でやっていて大変であるが、工夫している 始業後 すべの活起で難しい場合もあるが、ラインで共有はしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	活動時間も同様に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	幼行転用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(知的部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員のかとの情報共有を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	幼設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	（センターではないため回答なし）		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	（センターではないため回答なし）		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	（センターではないため回答なし）		
保護者への説明等	31	（31は、事業所のみ回答）			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で幼のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ハグなどで、さらんとまめに伝えている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご心境の変化を伺わせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関してしては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の玄関窓口を設定するとと共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。
	47	事前に、服薬予予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	食物アレルギーのあるお子さんへの食事の提供など、工夫は必要
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%	切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体測実を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。